

令和3年度

岩手県農業研究センター 年報



令和4年10月



# 目 次

## I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 5
(3) 企画運営会議	I - 5
(4) 運営会議、室長会議	I - 6
(5) 委員会等の運営	I - 7
ア ほ場管理委員会	
イ 公開行事企画運営委員会	
ウ 特許審査委員会	
エ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
オ 環境美化委員会	
カ 職員衛生委員会	
キ 原種等生産管理委員会	
ク 飼料生産委員会	
(6) その他会議	I - 8
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	

## II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 連携プロジェクトによる研究推進	II - 3
3 研究室・課の動き	II - 5
(1) 企画管理部	II - 5
(2) 生産基盤研究部	II - 6
(3) 園芸技術研究部	II - 8
(4) 生産環境研究部	II - 9
(5) 病害虫防除部	II - 10
(6) 畜産研究所	II - 11
(7) 県北農業研究所	II - 13

<b>4 令和3年度試験研究課題</b> .....	II- 14
(1) 細目課題分類 .....	II- 14
(2) 試験研究課題一覧 .....	II- 15
(3) 令和4年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧 .....	II- 22
<b>5 共同研究等の推進</b> .....	II- 23
(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業 .....	II- 23
(2) イノベーション創出強化研究推進事業(委託) .....	II- 23
(3) 公設試等連携可能性調査 .....	II- 24
(4) その他独法等からの委託 .....	II- 24
(5) 民間委託試験 .....	II- 25
(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究 .....	II- 26
(7) 他の公設試との共同研究 .....	II- 26
(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター) .....	II- 26
(9) その他共同研究 .....	II- 26
(10) 産学官連携 .....	II- 27
<b>6 現地試験の実施</b> .....	II- 28
<b>III 試験研究の成果</b>	
<b>1 試験研究成果</b> .....	III- 1
(1) 令和3年度成果数 .....	III- 1
(2) 令和3年度成果名一覧 .....	III- 2
<b>2 追跡評価</b> .....	III- 5
<b>3 東北農業試験研究成果</b> .....	III- 7
(1) 研究成果数 .....	III- 7
(2) 研究成果名 .....	III- 7
<b>IV 試験研究成果の発表</b>	
<b>1 試験成績書等刊行物</b> .....	IV- 1
<b>2 研究レポート</b> .....	IV- 2
<b>3 学会等研究報告</b> .....	IV- 3
(1) 学術論文 .....	IV- 3
(2) 学会発表 .....	IV- 4
<b>4 雑誌等掲載</b> .....	IV- 8
(1) 専門雑誌等 .....	IV- 8
(2) 岩手の畜産 .....	IV- 8
(3) その他の雑誌等 .....	IV- 9
(4) ホームページ等Web掲載 .....	IV- 9
<b>5 新聞等掲載</b> .....	IV- 10
<b>6 テレビ・ラジオ放送</b> .....	IV- 12
(1) テレビ .....	IV- 12
(2) ラジオ .....	IV- 12
<b>7 指導資料等掲載</b> .....	IV- 13
<b>8 ホームページ</b> .....	IV- 15
<b>9 SNS</b> .....	IV- 15
(1) Twitter .....	IV- 15
(2) Facebook .....	IV- 15

10 研究室だより	IV- 16
(1) らぼ・れたあ	IV- 16
(2) ふおとらぼ	IV- 17
<b>V 指導・啓発活動</b>	
1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 5
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 10
4 春季一般公開及び一般公開デー	V- 10
5 技術セミナー等の開催	V- 10
6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者	V- 11
7 研修生の受け入れ	V- 12
(1) 海外研修	V- 12
(2) 短期研修生	V- 12
(3) 視察・体験学習の受け入れ	V- 12
ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ その他の視察・研修等に対応したもの	
8 協議会、委員会等委員	V- 15
<b>VI 職員研修</b>	
1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(4) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(5) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 6
5 所内セミナー等	VI- 7
<b>VII 試験研究以外の業務概要</b>	
1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の	VII- 1
(2) その他原種種子の生産	VII- 1
3 種苗等の配布	VII- 2
(1) 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子	VII- 2
(2) その他種苗の配布	VII- 2
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 3
(1) 黒毛和種	VII- 3
(2) 日本短角種	VII- 3
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 4
(1) 豚の配布	VII- 4
(2) 種鶏等の配布	VII- 4

6 寄託放牧	.....	VII-	4
(1) 牛	.....	VII-	4
(2) 馬	.....	VII-	4
VIII 予算及び財産			
1 岩手県農業研究センター予算	.....	VIII-	1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	.....	VIII-	2
(1) 建物・用地の面積	.....	VIII-	2
(2) 飼養家畜頭数	.....	VIII-	2
IX 沿革	.....	IX-	1

# I 農業研究センターの概要

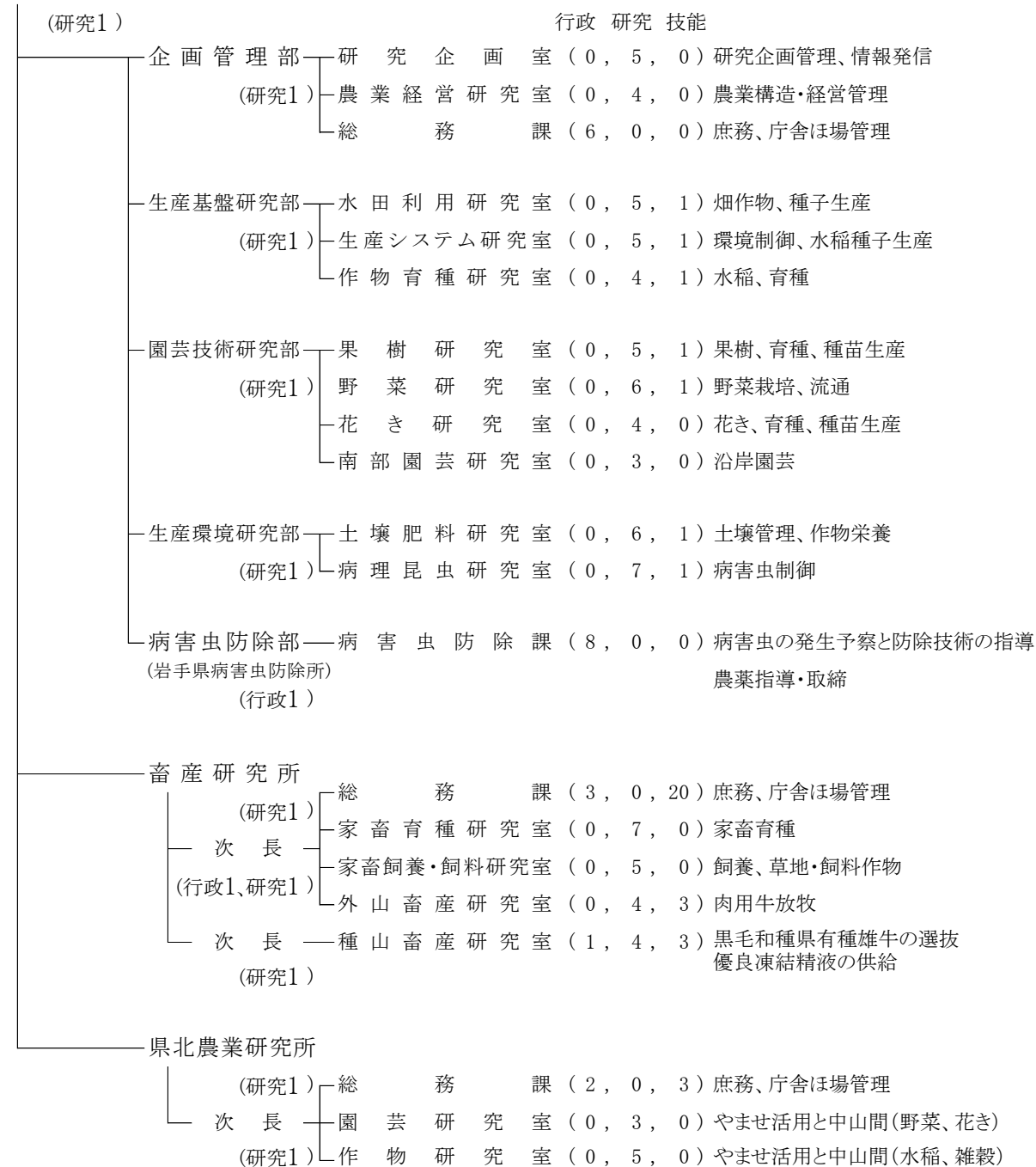




# I 農業研究センターの概要

## 1 組織機構・職員数 ※実数

### 所 長



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢市)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	59	3	15	4	5	10	96
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	81	3	39	7	9	15	154

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 新規試験研究課題の評価と選定

##### (ア) 第1回内部検討会議

###### a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R3.8.2(月)	R3.7.30(金)	R3.8.3(火)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

###### b 協議事項

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度からの試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (c) 令和4年度新規試験研究課題案について

##### (イ) 第1回外部検討会議

- a コロナウイルス感染症対策のため試験研究アドバイザーへの書面による意見照会
- b 協議事項等

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度新規試験研究課題案について

##### (ウ) 第1回評価調整会議

- a 開催日 令和3年9月22日(水)

###### b 協議事項等

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度からの試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (c) 令和4年度新規試験研究課題案について

###### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## イ 試験研究成果の採択

### (ア) 第2回内部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R3.12.2(木)	R3.12.8(水)	R3.12.6(月)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

###### b 協議事項

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度試験研究課題案について
- (c) その他

### (イ)第2回外部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R4.1.12(水)	R4.1.11(火)	R4.1.13(木)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	-
	岩手県植物防疫協会	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	-
	岩手県農業公社	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-
	岩手県畜産協会	-	-	○

#### b 協議事項

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度試験研究課題案について
- (c) その他

### (ウ)第2回評価調整会議

#### a 開催日 令和4年1月20日(木)

#### b 協議事項

- (a) 令和3年度試験研究成果案について
- (b) 令和4年度試験研究課題案について
- (c) 令和3年度追跡調査結果について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

### ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

#### (ア)第3回内部検討会議

#### a コロナウイルス感染症対策のため書面による開催

#### b 協議事項

- (a) 令和4年度試験研究課題(新規、変更課題)について
- (b) 外部資金への応募課題について

#### (イ)第3回評価調整会議

#### a 開催日 令和4年3月16日(水)

#### b 協議事項

- (a) 令和4年度新規試験研究課題(案)について
- (b) 令和4年度新規試験研究課題(試験設計、変更)について
- (c) 外部資金応募課題について
- (d) 岩手県農業研究センター試験研究推進計画の策定について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## エ 岩手県農業技術開発会議

### (ア)第1回

- a 開催日 令和4年2月4日(金) 13:30～
- b 報告・協議事項
- (a) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
  - (b) 農業研究センターにおける技術開発について
  - (c) 生物工学研究センターにおける技術開発について
  - (d) その他
- c 参集範囲
- (公財)岩手生物工学研究センター  
 農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校  
 農業研究センター所長、各部長、各研究所長

### オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	外部検討会議出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部 准教授	-	-
	迫田 登稔	農研機構 東北農業研究センター 水田輪作研究領域 領域長	-	○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久 代表(雫石町)	-	○
	清水 一孝	株式会社西部開発農産 生産部 部長	-	○
	杉村 靖	全農岩手県本部米穀部 次長	-	○
農産 (畑作)	新良 力也	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長	-	○
	熊谷 匡章	有限会社下館農産 代表取締役	-	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	○
	岩波 宏	農研機構 果樹茶業研究部門 リンゴ栽培生理ユニット ユニット長	-	○
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部生産販売課 技術主管	-	○
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長	-	○
	山崎 安人	岩手県農業農村指導士(宮古市)	-	○
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター 教授	-	○
	室 崇人	農研機構 東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 野菜新造型グループ グループ長	-	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺区)	-	○
	工藤 勝弘	岩手県農業農村指導士(八幡平市)	-	○
	鈴木 公	全農岩手県本部園芸部 次長	-	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 施設野菜花き生産管理システムグループ グループ長補佐	-	○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー 会長兼CEO	-	○
	高橋 亮	八幡平市花き研究開発センター 係長	-	○
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	-	○
畜産	新良 力也	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長	-	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	-	○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	○
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部 次長兼生産指導課長	-	○
	山野 淳一	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長	-	○
	菊池 忠孝	地域戦略プロジェクト研究実証農家	-	○
	田村 憲史	岩手県青年農業士(久慈市)	-	○
	嵯峨 裕紀	岩手県青年農業士(盛岡市)	-	○
			書面	28 名

## (2) 機関評価委員会

ア 開催日・場所 令和3年9月16日(木) 岩手県農業研究センター 本部(北上市) ※オンラインによる開催

イ 内容 (ア) 機関評価結果への対応状況・対応案について

(イ) 主な試験研究の実施状況について

(ウ) 意見交換

(エ) 委員講評

ウ 出席者

(ア) 機関評価委員 中野 正久 氏 (東北農業研究センター 研究推進部長)  
外部評価(5人) 高畑 義人 氏 (岩手大学 名誉教授)  
新田 義修 氏 (岩手県立大学 研究・地域連携本部副本部長兼地域政策研究センター長兼総合政策研究科・総合政策学部 准教授)  
越沼 洋一 氏 (全農県本部 副本部長)  
五日市 亮一 氏 (岩手県農業農村指導士協会 会長)  
鎌田 公一 氏 (岩手県工業技術センター 理事)

(イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

## (3) 企画運営会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R3.4.9(木)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)連携プロジェクトによる研究推進について 2 連絡・報告事項 (1)研究倫理に関する誓約書の提出について (2)令和3年度当初予算について (3)農研本部新任者に対するオリエンテーションの開催について (4)試験研究推進アドバイザーの候補者の推薦について (5)予備調査予算10万円獲得！農業研究センター所内コンペの開催について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)4～6月の行事予定
R3.5.25(火)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和3年度新規試験研究課題(案)について (2)農業研究センター所内コンペの追加配分について (3)令和3年度機関評価の実施について (4)次年度予算要求に向けた取組について 2 連絡・報告事項 (1)各部長・研究所長からの情報提供 等 (2)6～7月の行事予定
R3.7.20(火)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 連絡・報告事項 (1)令和3年度岩手県農業研究センター一般公開デーのイベント内容について (2)令和3年度機関評価委員会の開催について (3)各部長・研究所長からの情報提供等 (4)7～9月の行事予定
R3.9.22(水)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)農業研究センター研究員育成方針の策定について 2 連絡・報告事項 (1)各部長・研究所長からの情報提供等 (2)9～11月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R3.11.25(木)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)農業研究センター研究員等育成方針の策定について (2)機関評価制度等の改善について (3)依頼研究員および予備調査予算10万円獲得課題報告会の開催について 2 連絡・報告事項 (1)各部長・研究所長からの情報提供 等 (2)11～2月上旬の行事予定
R4.1.20(木)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和3年度農業技術開発会議への対応について (2)令和4年度依頼研究員候補者の推薦について (3)令和3年度機関評価「総括評価(案)」について (4)試験研究推進等に関係する要領の改正等について (5)公設試等による知事への活動報告について 2 連絡・報告事項 (1)次年度外部研究資金事業への応募・参加状況について (2)広報(らぼ・れたあ、SNS等)の実績(～第3四半期)について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)1～3月の行事予定
R4.3.16(水)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和4年度研究成果発表会について (2)令和4年度におけるセンターの情報発信について 2 連絡・報告事項 (1)令和4年度「予備調査予算10万円獲得！所内コンペ」の開催について (2)各部長・研究所長からの情報提供 等 (3)4～6月の行事予定

#### (4) 運営会議、室長会議

##### ア 本部運営会議

原則毎週金曜日開催、令和3年度開催回数39回

##### イ 本部室長会議

原則隔月開催、令和3年度開催回数3回

##### ウ 畜産研究所室長会議

原則月1回開催、令和3年度開催回数13回

##### エ 県北農業研究所企画調整会議

原則月2回開催、令和3年度開催回数20回

## (5) 委員会等の運営

### ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
R3.4.8	本部ほ場管理委員会	(1) 委員及び業務分担について (2) 委員会開催予定について (3) 水利用状況について (4) 堆肥、残渣堆肥について (5) 全場一斉田植えについて (6) 作業安全について

### イ 公開行事企画運営委員会

#### (ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
R3.7.20	本部特別会議室	令和3年度岩手県農業研究センター一般公開デーのイベント内容について

#### (イ) 幹事会等

##### (本部関係)

開催月日	場所	内 容
R3.5.24	本部1階中会議室	令和3年度一般公開デーの開催について
R3.7.14	本部1階中会議室	令和3年度一般公開デーの開催について

##### (畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

### ウ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
R3.4.22	(書面協議)	(1) ハクサイ品種「C9-719(仮称)」の勤務発明審査について

### エ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
R3.5.25	農業科学博物館	(1) 令和2年度管理運営状況について (2) 令和3年度管理運営計画について (3) その他
R4.2.25	本部1階小会議室	(1) 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会設置要領の廃止について (2) 令和4年度の農業ふれあい公園管理等に係る事業計画(案)について (3) その他

### オ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
R3.4.14	本部2階中会議室	(1) 令和2年度環境美化事業報告について (2) 令和3年度環境美化事業計画(案)について (3) その他

#### カ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
R3.6.16	本部1階中会議室	(1) 令和2年度事業実績について (2) 令和3年度事業計画について (3) その他
R4.3.8	本部 センター所長室	(1) 令和3年度定期健康診断結果について (2) 令和3年度事業実施状況について (3) その他

#### キ 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
R3.7.9	本部2階中会議室	(1) 原種等生産管理体制について (2) 岩手県種子条例等に係る対応について (3) 原種等の生産・管理状況について
R4.2.16	本部2階中会議室	(1) 原種等の生産・管理状況について (2) 原種等生産管理体制の見直しについて

#### ク 飼料生産委員会

開催月日	場 所	内 容
R3.4.9	畜産研究所小会議室	(1) 令和2年度粗飼料供給実績について (2) 令和3年度粗飼料要望数量と供給見込数量について (3) 収穫時の作業協力体制について

#### (6) その他会議

##### ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R3.6.18	オンライン開催	全国農業関係試験研究場所長会総会 (1) 令和3年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 (2) 研究功労者表彰式

##### イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R3.8.6 ～11.5 (詳細右記)	新型コロナウイルス感染 拡大のため書面で情報 交換を実施	情報交換(書面で実施) 「各道県からの情報収集」 (1) 「みどりの食料システム戦略」への対応について (2) 地元教育機関及び地元研究機関等との連携について 「各道県間での質疑応答(9/30～11/5)」



ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R3.6.17	書面開催	1 協議 (1) 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件 (2) 令和2年度事業計画及び収支予算に関する件 (3) 令和2年度会費の額及び徴収方法に関する件 (4) 令和3年度役員に関する件 2 その他 (1) 令和2年度全国畜産関係場所長会意見交換会について (2) 畜産研究功労者の推薦について (3) 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R3.9	書面開催	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究の実施状況について 3 連携(共同)研究の今後の希望について 4 意見交換会の企画案について 5 国・国研・独法に対する提案について 6 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 7 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 8 次期役員及び次回開催地(案)について

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
R3.9.1	盛岡市 (アイーナ)	第1回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・作成に係る基本方針の周知等
R3.11.1~2	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催) ・防除指針の原案及び要望事項の検討
R3.12.23~24	北上市 (農業研究センター)	令和4年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催) ・チェック結果の検討
R4.2.2	盛岡市 (県庁)	第2回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】</b>		
R3.9.1	オンライン開催 (東北農研)	<b>○東北地域麦品種・系統検討会</b> 1 各県の麦作概況 2 麦類の検討 3 冬作研究に関する情報交換
R4.1.25~26	オンライン開催	<b>○稲品種検討会</b> 1 成果情報の検討及び「最新農業技術・品種202X」候補の選定 2 新品種及び品種候補系統の概要紹介 3 品種の作付動向と要望される品種 4 配付系統の試作結果と配付計画の検討 5 水稻品種・育種に係る技術的課題の提案と検討 6 特性比較連絡試験の検討 7 新配付系統の紹介

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】(続き)</b>		
R4.1.25～26	オンライン開催	<b>○稲栽培研究会</b> 1 研究会テーマ「みどりの食料システム戦略に対応した水稻栽培研究」 2 研究成果情報候補課題の検討 3 技術適課題の検討 4 重点検討事項「アフターコロナの農業技術研究と普及」の検討
R4.1.25	オンライン開催	<b>○直播研究会</b> 1 話題提供 「NARO方式乾田直播栽培の普及拡大と北海道空知地域での取組事例」 2 各県における水稻直播種栽培の生育概況とその対応について 3 総合討論
R4.1.26	オンライン開催	<b>○作物生産推進部会 本会議</b> 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2023」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「「みどりの食料システム戦略」の達成に向けた作物生産分野における技術開発の方向と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R4.1.25	オンライン開催	<b>○畑作物栽培研究会</b> 1 情勢報告 畑作物栽培に関わる行政部局からの情報提供 2 重点検討事項「ダイズ青立ちの発生要因と対策」 (1) 話題提供「光環境と気温が大豆の青立ちに及ぼす影響」 (2) 東北地域におけるダイズ青立ちの発生状況に関する情報交換 (3) 総合討論 3 令和3年度研究成果情報候補等の検討
R4.1.26	オンライン開催	<b>○畑作物品種検討会</b> 1 令和3年度研究成果情報候補(畑作物品種関係)の検討 2 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 3 夏畑作物の有望品種・系統の成績および次年度配布計画の検討 (1) 奨励品種の改廃・採用予定、有望品種・系統 (2) 大豆の有望品種・系統(育成地)
R4.1.25～26	オンライン開催	<b>○農業経営研究会</b> 1 重点検討事項「みどりの食料システム戦略を踏まえた農業経営研究の方向」 ・EU「農場から食卓まで(Farm to Folk)」戦略にみる環境重視の背景と農業環境イノベーション ・イタリアのスマート農業技術を用いた乾田直播による有機稲作の実態 2 現場段階での重要な技術的課題の検討 3 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案 4 各県の主要研究課題の検討
R4.1.25～26	オンライン開催	<b>○作業技術研究会</b> 1 重点検討事項「みどりの食料システム戦略の実現を視野に入れたスマート農業および作業技術分野の取組と現状」 2 研究成果情報の検討・確認 3 「最新農業技術・品種2023」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 令和4年度作業技術検討会(夏期)についての意見交換

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】(続き)</b>		
R4.1.24	オンライン開催	<b>○流通加工研究会</b> 1 情勢報告 2 重要検討事項「みどりの食料システム戦略を踏まえた流通加工研究の推進方向」 「品質データに基づく青果物の高品質冷凍・乾燥技術の開発と食品ロス削減成」 3 令和3年度成果情報の検討 4 「最新農業技術・品種202X」候補の選定 5 現場段階での重要な技術的課題の検討 6 研究トピックの紹介
<b>【生産環境推進部会】</b>		
R3.7.8	オンライン開催	<b>○土壌肥料研究会(夏期)</b> 1 検討課題「みどりの食料システム戦略」と東北の土壌肥料研究方向 特別講演 「みどりの食料システム」 農林水産技術会議事務局研究統括官(生産技術室) 研究専門官 井原啓貴 氏 2 各県・東北農研の取組状況と今後の研究方向
R4.1.20～21	オンライン開催	<b>○土壌肥料研究会</b> 1 重点検討事項 「みどりの食料システムに対応した緑肥および有機質肥料等の利活用技術」 話題提供1 「緑肥のもつ様々な効果とその化学肥料等の利活用技術」の検討 農研機構中日本農業研究センター温暖地野菜研究領域 有機・環境保全型栽培グループ グループ長補佐 唐澤敏彦 氏 話題提供2 「水田における堆肥等有機質資材の肥効判断指標および施用効果について」 宮城県農業・園芸総合研究所園芸環境部土壌環境チーム 上席主任研究員 瀧 典明 氏 2 各県・東北農研の取組状況と今後の研究方向 3 令和3年度研究成果情報の検討および関連技術・研究に関する情報交換 4 「最新農業技術・品種2023」候補の選定
R4.1.20～21	オンライン開催	<b>○病虫害研究会</b> 1 重要検討事項 「農研機構における『みどりの食料システム戦略』の対応方向」 2 令和3年度研究成果情報候補の検討 3 「最新農業技術・品種202X」候補の選定 4 令和4年度新規試験研究課題および令和3年度主要試験研究成績の検討 5 現場段階での重要な技術的課題の検討
R4.1.21	オンライン開催	<b>○農業気象研究会</b> 1 重要検討事項 「みどりの食料システム戦略に資する気象予報データの現状と今後の展望」 2 「主要研究成果」、「最新技術・品種2023」、「現段階での重要な技術的課題」等の検討 3 試験研究成績の検討
R4.1.21	オンライン開催	<b>○生産環境推進部会</b> 1 重点検討事項 「みどりの食料システム戦略に対応した東北地域生産環境分野の技術開発の方向」 話題提供 「『みどりの食料システム戦略』の概要とめぐる情勢」 農林水産省大臣官房政策課技術政策課 課長補佐(推進班) 藤田由美子 氏 2 研究成果情報の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種2023」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討

開催月日	場 所	内 容
<b>【畜産飼料作推進部会】</b>		
R3.8.31	オンライン開催	○夏期研究会 1 検討課題:「畜産物のブランド化に『おいしさ』を活用するための考え方」 2 各県場所畜産物の食味に関する試験研究紹介 3 情報交換
R4.1.25～26	オンライン開催	○畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 「みどりの食料システム戦略に対応した東北地域畜産飼料作研究の展開方向」 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種202X候補の選定 4 令和3年度主要新規試験計画の検討
<b>【野菜花き推進部会】</b>		
R4.1.27～28	オンライン開催	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜・花きにおける『みどりの食料システム戦略』に関する研究開発の方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種202X」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討
<b>【果樹推進部会】</b>		
R4.1.26	オンライン開催	○果樹推進部会 1 行政施策等に関する情報提供 2 重点検討事項:果樹作における「みどりの食糧システム戦略」の実現に向けた技術的課題 3 技術的課題に対応した共同研究等の推進について 4 地域に普及すべき研究成果と普及の促進について 5 その他(次年度の開催、現地検討会の開催計画等)
<b>【研究戦略会議】</b>		
R3.10.26	オンライン開催	出席者:企画管理部長、研究企画室長 1 情報提供(農林水産省) 2 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定 3 「最新農業技術・品種2022」候補の選定・「農業新技術200X」の追跡調査報告 4 戦略目標(重点検討事項)の検討 「みどりの食料システム戦略」に対応する東北農業の研究方向 5 その他
<b>【本会議】</b>		
R4.2.17	盛岡市 (東北農業研究センター) オンライン出席	出席者:所長、企画管理部長 1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 「みどりの食料システム戦略」に対応する東北農業の研究方向 3 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R3.9.4～5	岩手県立大学(オンライン) (事務局 企画管理部農業経営研究室)	第57回 東北農業経済学会 岩手大会 大会シンポジウム 「スマート農業技術の導入等による東北水田農業経営のイノベーション」 個別報告
R4.3.25～27	岩手大学(オンライン)	2022年度日本草地学会岩手大会

## II 試験研究の推進



## II 試験研究の推進

### 1 研究活動の概要

県は、平成31年度から令和10年度までの10年間の計画となる「いわて県民計画」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部は、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(令和2年3月)。

農業研究センターは、技術開発基本方針に基づき、令和5年度まで取り組む「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した(令和2年3月、研究期間は令和5年度までとして策定)。

技術開発基本方針の5つの農業技術開発の方向に即し、15分野43の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的かつ安定的に生産するために高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和3年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規25、継続73、合計98(小課題数ベース、分野を重複する小課題はカウント)の研究課題に取り組んだ。

#### 1 県民視点の試験研究等業務の推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

#### 2 スピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、行政、普及、農業者と連携し一体的に推進
- ・連携強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

#### 3 業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果・業務内容のPR及び視察等の受入れ

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産・園芸部門で43課題(うち新規15課題)、畜産部門で4課題(うち新規2課題)、合計47課題の共同研究に取り組んだ。なお、「イノベーション創出強化研究推進事業」では、「雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立」、「チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」及び「ミストで夏ノ暑サにも負けない雨よけハウレンソウの増収技術を開発」の3課題は代表機関として取り組んだ。

知的財産では、特許「リンドウの栽培方法」が特許登録された(特許第6881721号)。また、切花用りんどう「いわてEB-3号」、はくさい「いとさい1号」を品種登録出願した(「いとさい1号」は、農研機構東北農業研究センター、株式会社サカタのタネ及び国立大学法人岩手大学との共同出願)。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部(試験研究推進アドバイザー・生産者等)の評価を経て、48の研究成果(普及区分4、指導区分21、行政区分12、研究区分11)にとりまとめ公表した。

機関評価委員会(外部評価)を9月16日に本部を会場として開催した。令和3年度は、試験研究推進計画期間の中間年度にあたることから、中間評価として実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催とし、現地視察予定であった県北農業研究所については、動画で紹介を行った。委員会では、機関評価結果への対応状況や主な試験研究の実施状況について説明し、試験研究全般に関し意見交換を行った。

## 2 トピックス

### (1)特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	リンドウの栽培方法(千鳥疎植栽培) ・R3.5.10 特許取得 ・特許番号:特許第 6881721 号	園芸技術研究部 花き研究室
種苗 登録	はくさい いとさい1号 【出願番号 35753、登録出願 2021/10/4】 ・極晩抽性を示す黄芯系品種	園芸技術研究部 野菜研究室 【農研機構東北農業研究センター、株式会社サカタのタネ、国立大学法人岩手大学、岩手県共同出願】
	りんどう いわて EB-3号 【出願番号 35822、登録出願 2021/11/1】 ・8月上旬咲きの切り花用青花品種	園芸技術研究部 花き研究室

### (2)表彰等受賞状況

#### ア 令和3年度農林水産部長職員表彰

畜産研究所 山形広輔主任専門研究員、安田潤平主査専門研究員及び米澤智恵美主任専門研究員は、県内黒毛和種ゲノム育種価評価の確立による種雄牛造成期間の短縮と繁殖雌牛集団の能力向上に貢献したとして表彰された(令和3年11月5日)。

生産基盤研究部 小館琢磨主査専門研究員、藤岡智明専門研究員及び太田裕貴専門研究員は、早生で耐倒伏性に優れ、収量が多い「たわわっこ」を育成し、本県の飼料用米の安定的な生産と農家所得の向上に大きく貢献したとして表彰された(令和4年3月28日)。

また、農業研究センターは、被災地の農業の課題解決を図るとともに、研究成果について県内の他地域へも導入できる技術として、各種マニュアル等により広く普及し、本県農業の振興に大きく貢献したとして表彰された(令和4年3月28日)。

#### イ 第14回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)

園芸技術研究部野菜研究室 横田 啓主査専門研究員は、「北日本病害虫研究会報第71号」で東北農業研究センター永坂 厚らと共著で発表した報文「東北地域の春まきタマネギにおけるネギアザミウマ防除がタマネギ腐敗病の発生に与える影響」で、タマネギ腐敗病発病率とネギアザミウマ寄生虫数の相関関係を示し、腐敗病の効率的な防除にネギアザミウマの防除が寄与することを示したことが高く評価され、表彰された(令和4年2月17日)。

#### ウ 令和3年度東北農業試験研究協議会論文賞

令和元年度より制定されたもので、「東北農業研究第74号」に掲載された論文のうち、以下の7名が論文賞を受賞した(令和4年3月18日)。

所属・職・氏名	部会名	論文名
企画管理部 農業経営研究室 主査専門研究員 藤澤 真澄 他2名	経営	露地野菜作経営におけるスマート農業技術の導入効果
園芸技術研究部 野菜研究室 技師 佐藤 春菜 他1名	野菜花き	小規模ハウスキュウリにおける二酸化炭素及びミスト施用効果
畜産研究所外山畜産研究室 主任専門研究員 佐々木 康仁 他1名	畜産	自然交配牛群における Bluetooth Low Energy の受信強度を用いた発情時期の推定

#### エ その他(いわて平泉農業協同組合なす生産部会感謝状)

生産環境研究部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員は、JA いわて平泉管内のなす産地で問題になっていた原因不明の「果実小陥没症」について、現地調査と原因究明および防除対策に精力的に取り組んだことにより、なす生産部会の振興に大きく貢献したとして、いわて平泉農業協同組合なす生産部会から感謝状を授与された(令和3年12月1日)。



## オ 内部表彰

有益な研究・発明を行い優秀な成果をあげた職員や、事務の改善・効率化に貢献した職員、あるいは担当業務に熟練・精励し、長年に渡って職場に貢献した職員に対し、農業研究センター所長表彰、畜産研究所長表彰及び県北農業研究所長表彰を下記のとおり行った。

表彰名称	件数	表彰者数	表彰年月日
令和3年度第1回農業研究センター所長表彰	3	11	令和3年10月5日
令和3年度第2回農業研究センター所長表彰	12	24	令和4年3月7日
令和3年度第1回農業研究センター畜産研究所長表彰	3	13	令和3年9月24日
令和3年度第2回農業研究センター畜産研究所長表彰	6	51	令和4年3月2日
令和3年度農業研究センター県北農業研究所長表彰	5	9	令和4年3月18日

## (3)連携プロジェクトによる研究推進

### ア 連携プロジェクト

(多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策プロジェクト [H29～]	りんご JM7 台木利用樹衰弱症状に係る試験研究	園芸技術研究部 生産環境研究部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・(一社)岩手県植物防疫協会 ・(国研)農研機構果樹茶業研究部門 ・農業普及技術課革新支援担当(農研センター駐在) ・中部農業改良普及センター ・奥州農業改良普及センター ・一関農業改良普及センター ・病害虫防除所
	水田等における野菜産地・経営体育成連携プロジェクトチーム[R3～]	水田等における野菜産地・経営体育成に向けた研究	企画管理部 生産基盤研究部 園芸技術研究部 生産環境研究部	・農業普及技術課農業革新支援担当 ・農産園芸課園芸特産担当

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策	りんごのわい性台木 JM7 を使用した樹における急性衰弱・枯死症状の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを設置。生工研、農研機構との連携を図る。 ○第1回連携プロジェクトチーム会議 (R3.7.2)	○第1回連携プロジェクトチーム会議 令和2年度試験成績および令和3年度試験計画の確認。 本連携プロジェクトの取組を、「委託プロジェクト研究現場ニーズプロ課題」へ移行し、本年度で終了することを確認。

名称	検討内容	検討結果
水田等における野菜産地・経営体育成	<p>各分野の既存知見等を収集し、工程別に行うべき取組事項を体系的に整理した「水田における野菜作導入に係るチェックリスト(仮称)」を作成・提示する。</p> <p>○第1回チーム会議(R3.4.28)</p> <p>○第2回チーム会議(R3.7.26)</p> <p>○第3回チーム会議(R3.10.27)</p> <p>○第4回チーム会議(R4.3.1)</p>	<p>○第1回チーム会議 今年度の研究計画の検討</p> <p>○第2回チーム会議 チェックリスト(案)の中間検討</p> <p>○第3回チーム会議 チェックリスト(案)の検討、普及センターにおける野菜作指導状況調査結果の情報共有</p> <p>○第4回チーム会議 今年度の取組実績(研究成果「水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目-確認・指導すべき項目のチェックリスト-」)の情報共有、次年度の研究計画の検討</p>

### 3 研究室・課の動き

#### (1) 企画管理部

##### 研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

##### <顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を9月16日に本部を会場としてオンライン開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について説明、意見交換を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

##### <アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、45件(前年69件)であった。ホームページは、年間267ページの更新を行い、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間46件(前年51件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数289回、フォロワー増加数135名、同じくFacebookでは投稿数172回、フォロワー増加数47名であった。

##### <専門知識と技術を有する人材育成 ～ 新たに若手研究員を対象とした所内コンペを開催>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年策定、平成27年改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、各種研修等への参加を誘導した。また、研究員の自由な発案に基づく研究課題の設定を促すため、新たに若手研究員を対象とした所内コンペティションを4月27日に開催し、3課題を採択・予算配分したほか、センター内の学位取得者や論文査読経験のある職員15名を若手研究員育成サポーターとして設置し、若手研究員に対して論文投稿や学会発表を始めとした研究業務全般のアドバイスをを行うなど、重点的に育成を図った。

なお、各分野の中核を担う研究員の計画的な育成をさらに効果的・効率的に進めるため、令和4年1月に農業研究センター研究員育成方針を策定(従来の農業研究センター研究員等育成プログラムは廃止)し、職員個々が研修計画を策定し実践するとともに、発展段階に応じた集合研修を企画・実施することとしている。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

##### 農業経営研究室

「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、収益力の高い農業経営体の育成に向け、農業構造・経営管理分野の研究について、以下のとおり取り組んだ。

##### <収益性の高い農業経営モデルの提示>

「水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジメント手法の提示」では、農業普及員等が水田転換畑における野菜栽培を指導する際に、確認・指導すべき項目をチェックリスト形式でリストアップした「水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目―確認・指導すべき項目のチェックリスト―」を研究成果として提示した。

「集落営農組織の実態・課題を踏まえた経営維持・発展方向の提示」では、県内集落営農法人を対象に経営実態・課題に関するアンケート及びヒアリング調査を実施し、後継者確保・経営継承の実態・課題の把握を行った。

「スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示」では、県農業農村指導士を対象にスマート農業技術の導入実態に関するアンケートを実施するとともに、スマート農業技術の導入経営体を対象に、導入・活用状況等のヒアリング調査を実施し、調査結果を「岩手県スマート農業事例集」(農業普及技術課発行)に収録した。

### <経営意思決定支援情報の提供>

「経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示」では、スマート農業実証プロジェクトにおける実証結果を基に、大規模露地野菜3品目(キャベツ、だいこん、ながいも)において自動操舵システム等を導入した場合の経営収支や労働時間、機械装備等を整理した「大規模露地野菜作のスマート農業技術体系データ」を研究成果として提示した。

- ・大規模露地野菜作のスマート農業技術体系データ(指導)

### <本県の農業構造の現状及び動向の提示>

「2020年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析」では、任意の地域や項目を選択することで、地域農業の概要把握や、複数地域・複数年のデータを横並びで比較可能な「農林業センサス分析支援シート」を研究成果として提示した。

- ・水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目 ー確認・指導すべき項目のチェックリスト(指導)

## (2)生産基盤研究部

### 水田利用研究室

水稻・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析麦・大豆の原種・原々種生産、農村整備分野の遠隔自動給排水システム・地下かんがいシステムの実証試験等に取り組んでいる。

#### <水稻品種>

水稻の奨励品種決定調査では、本調査において粳5系統を供試し、現地調査では粳を13か所で検討した。

水稻作用除草剤第2次適用性試験では、新たに開発された水稻の除草剤の効果の確認と雑草防除体系の確立のため、10剤を場内ほ場で試験した。

水稻高拡散除草剤の省力効果では、自己拡散型浮遊粒除草剤を用いてほ場長辺の畦畔1辺からの防除を行った場合、作従来の散布方法と比較して極めて省力であることを明らかにした。

以上の取組から、今年度は以下の2つの研究成果を公表した。

- ・1ha規模大区画水田における自己拡散型浮遊粒除草剤の畦畔1辺処理による省力効果(指導)
- ・令和3年度における水稻奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果(行政)

#### <麦類>

麦類奨励品種決定調査では、小麦4系統を供試した。

ナンブコムギに縞萎縮病抵抗性を付与した系統の育成のため、場内にて東北農業研究センターとの共同研究で、縞萎縮病に強い個体の選抜に取り組んだ。

縞萎縮病に強く単収性が高い日本麺用品種「ナンブキラリ」について、播種量及び追肥時期・量試験に取り組んでいる。

麦類耐寒雪性検定試験では、現地ほ場(一戸町奥中山)において、育成地より配布を受けた108系統の雪腐病に対する耐性調査に取り組んだ。

#### <大豆>

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆3系統を供試した。

大豆「東北190号」のダイズシストセンチュウの抵抗性評価では、東北農業研究センターとの共同で、現地ほ場2か所(軽米町、雫石町)において現地栽培特性調査に取り組んだ。

#### <種子生産>

小麦は原種3品種を10.6t、原原種を0.4t生産した。大豆は原種3品種を3.1t、原原種4品種を0.2t生産した。

#### <地下かんがいシステム・ほ場水管理システムの利用技術>

地下かんがいの利用技術では、既設暗渠に安価な給排水装置を追加した地下かんがいシステムは、地下水位を均一に設定値まで上昇させることができること、施工費が安価であることを明らかにした。

ほ場水管理システムの導入実証では、ほ場水管理システムを用いて生育時期に応じた水制御を行う可変水位区と、農家慣行による一定湛水区で生育・収量調査に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・既設暗渠を活用した地下かんがいシステムの特徴(行政)

## 生産システム研究室

水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、収益性の向上を図るため、スマート農業技術の実証、水稻の作柄解析や優良な水稻原種・原原種の生産・供給に取り組んだ。

また、露地野菜のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発に取り組んだ。

### <水稻栽培>

水稻の直播栽培技術の実証、作況調査及び現地生育データなど総合的な解析、リモートセンシング技術を活用した生育診断技術の開発などに取り組み、今年度は以下の4つの研究成果を公表・掲示した。

- ・「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播栽培可能地域(指導)
- ・岩手県的水稻主要4品種における移植栽培可能地域の算定(行政)
- ・令和3年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析(指導)
- ・無人航空機(ドローン)で撮影した可視光画像から得られた植生指数(VARI 値)による水稻栄養診断の可能性(研究)

### <水稻種子生産>

原原種は、うるち5品種、もち1品種について約 600kgを生産した。また、原種は、うるち7品種、もち1品種について約 24tを生産した。

### <露地野菜のスマート農業>

露地野菜のスマート農業化の推進に向けた技術開発に取り組む、今年度は以下の2つの研究成果を公表・掲示した。

- ・傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術(指導)
- ・低コスト RTK-GNSS データロガーの特徴(研究)

## 作物育種研究室

### <水稻育種>

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組む、生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 147 号」(「きらほ」よりやや遅い熟期で、多収の低アミロース米系統)、「岩手 148 号」(「ひとめぼれ」並みの熟期で、栽培特性に優れる良質良食味多収系統)、「岩手 149 号」(「ひとめぼれ」並の熟期で、耐倒伏性に優れたやや低アミロース米系統)、「岩手 150 号」(「ひとめぼれ」よりやや遅く、収量に優れた良質良食味系統)の4系統を選抜した。

平成 31(令和元)年度に開始した「新たな価値を創造する水稻育種基盤強化事業」においては、隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっているスマート農業に適応した品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の2つの研究成果を公表した。

- ・令和4年度水稻奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統(行政)
- ・令和4年度水稻奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手 147 号」、「岩手 148 号」、「岩手 149 号」、「岩手 150 号」(行政)

### <チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成>

イノベーション創出強化研究推進事業応用研究ステージに採択された本課題において、当研究室の研究員が研究代表者として研究推進にあたり、水稻籾非破壊分析法とゲノム育種を統合した水稻の高速成分育種法により、超多収低アミロース米の育成に取り組むと同時に、農芸化学や食品加工部門の研究者及び流通加工業者と連携し、社会実装を見据えた研究成果創出に取り組んだ。

### <精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成>

今年度イノベーション創出強化研究推進事業研究開発ステージに採択された本課題において、(公財)岩手生物工学研究センターとの連携のもと、前ステージ育成系統の栽培特性(耐倒伏性、耐病性及び高温登熟耐性等)をゲノム育種で改良し、低コスト生産可能な安定した超多収良食味水稻品種の開発を目指し、宮城県、青森県、福島県と協力しながら効率的な系統育成に取り組んだ。

### (3)園芸技術研究部

#### 果樹研究室

りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、その中でも9月下旬～10月上旬に収穫できる優良中生品種の開発を重点課題としている。

また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹の早期成園化や管理作業の省力化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

以上の取組から、今年度は以下の3つの研究成果を公表した。

- ・岩手県における「シャインマスカット」の成熟に要する積算温度及び収量の影響(指導)
- ・令和3年4月の凍霜害におけるりんごの被害実態(指導)
- ・りんご育成系統「岩手19号」、「岩手20号」の果実特性(行政)

#### 野菜研究室

“岩手県野菜生産振興計画”を踏まえ、本県の気象条件を活用した施設栽培作型、収量の安定向上対策や環境制御技術など、単収の向上、作業の効率化等を図るための栽培法の開発、さらに本県の水田農業に導入可能な土地利用型野菜について、機械化体系に適応可能な栽培技術の開発や高収益が期待できる新規品目の探索に関係機関・団体と連携して取り組んだ。

県内の民間企業が開発した小型炭酸ガス発生機を用いた炭酸ガス局所施用による「低コスト環境制御技術」の普及拡大に向け、県内の6経営体において技術実証を行うとともに、ピーマン栽培における環境制御技術の確立に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果等を公表した。

- ・春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の日焼け球の発生(指導)
- ・春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安(指導)
- ・60～100坪のパイプハウスに適した小型炭酸ガス発生機の主な仕様と性能評価(研究)
- ・雨よけほうれんそう栽培におけるミスト加湿の効果(研究)
- ・炭酸ガス局所施用システムの現地設置事例集(暫定版)

#### 花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種 of 育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種 of 育成については、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の需要期に切れ目ない出荷を可能とする青色系品種のラインナップを揃えるため、複数品種 of 育成に取り組んだ。品質が低下している既存品種を花色、花型、草姿などの品質が優れた品種に置き換えていくため、本年度も有望なF<sub>1</sub>系統の特性検定を実施した。また、鉢花向け品種は、令和元年度に成果公表した新奇性の高い青色系八重咲き品種「いわて DfG PB-1号」に続く、桃色系、白色系の有望系統をはじめ、重イオンビーム照射により得られた一重咲きの濃桃色系系統「Bzc-1 mut1」等の特性検定を実施した。

種苗の安定生産・供給については、これまでに育成した県品種の親系統の維持等に取り組んだ。本年度は、(公社)農産物改良種苗センターへの原種苗の供給はなく、採種圃場の管理や採種技術等について指導を行った。

栽培技術については、育成品種 of 生態的特性や株養成技術のほか、今年度特許を取得した「千鳥疎植栽培」 of 普及に向け、早生品種「いわて夏のあい」 of 技術確立に取り組んだ。

加えて、今年度からイノベーション創出強化研究推進事業「りんどう of 開花制御基盤技術 of 開発」(R2～4)において、(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、既存 of 植調剤 of 開花への効果確認や日長に応答して花芽分化する系統を利用した開花調節技術 of 開発に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・鉢花向け濃桃色りんどう品種「Bzc-1 mut1」 of 育成(普及)
- ・栄養系鉢花りんどう「Bzc-1」 of における挿し穂冷蔵法(指導)
- ・令和3年度りんどう奨励品種決定試験・現地試験結果(行政)

## 南部園芸研究室

陸前高田市において沿岸地域の夏季冷涼・冬季温暖な気象特性を活かした園芸産地の育成と、東日本大震災津波(H23.3.11)からの農業復興支援を目的とした技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

いちごの品種比較試験については、東北農業研究センターとの共同研究により、夏秋どり作型に適した四季成り性系統の選定を実施し、四季成り性系統の中から収量性の高い「夏のしずく(盛岡 37 号)」が品種登録出願した。また、促成栽培向けでは既存品種の中から、本県での栽培に適し、収量性に優れ、省力性の高い品種を選定するための試験に取り組んだ。

いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改善については、貯水槽に溶出した肥料養分を均一化する方法について検討を行い、ベンチの改修により追肥作業の省力化も図られることを確認した。また、新しいベンチ構造に対応した施肥方法について検討を行った。

いちご夏秋作型における秋期収量向上対策については、市販 LED 電球でも白熱電球と同等の花芽分化促進能力があることを確認した。また、最適な花房管理、電照方法等の検討を行った。

現地指導では、気仙地域3市町、JA、農業改良普及センター等の関係機関と連携し、陸前高田市大規模園芸施設(米崎)におけるいちご栽培指導、リアスターファーム(ほ場:陸前高田市、大船渡市)におけるいちご栽培勉強会、住田町ストロベリープロジェクトにおけるいちご生産者の育成研修の実施などを支援した。

## (4) 生産環境研究部

### 土壌肥料研究室

土壌養分の蓄積及び不足に対応した効率的な施肥管理技術の開発、有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立、農産物の安全性を確保するための栽培管理手法の開発を柱とした研究課題に取り組んだ。

令和3年度は、小麦ほ場における有機物供給源としての緑肥作物の導入効果を明らかにした。また、これまでの県内水田土壌モニタリング調査(定点調査)をもとに、水稻の施肥管理の実態を整理した。

この他、土壌中の可給態硫黄含量が低い水田における簡易評価や資材施用試験、水田および露地野菜畑における有機物連用試験、水稻主要品種に適応したドローンによる効率的な生育栄養診断技術の確立、水田転換畑における春まきたまねぎの施肥試験(窒素追肥の要否、基肥リン酸施用量)、開発中の新肥料の実用性試験(6銘柄)を実施した。

また、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業の共同研究に参画し、玄米中の無機態窒素濃度低減に向けた栽培管理方法の試験、AI(人工知能)を活用した土壌分類支援技術開発や窒素動態モデル開発に向け土壌断面調査(県中 100 点)や無機態窒素発現に係る試験を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・小麦栽培における緑肥作物の導入効果(指導)
- ・県内水田土壌 35 年間の施肥管理と化学性の変化(追補)(指導)

### 病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術の確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。

令和3年度は、ダイズ紫斑病の薬剤耐性菌の防除体系の確立、なす産地で問題となっている果実小陥没症の発生要因解明と対策技術の確立、りんご園地における土着天敵を活用したハダニ類の発生抑制、畦畔の雑草管理や栽培品種の組み合わせによる殺虫剤だけに頼らない斑点枚カメムシ総合防除体系に係る調査・試験を実施した。

また、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業による、AI(人工知能)を活用したトマト病害虫の診断や病害発生予測に係る共同研究や、新農薬の効果検定を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・大豆種子生産における耐性菌発生リスクを考慮した紫斑病防除体系(指導)
- ・ナス果実小陥没症の発生抑制対策(指導)
- ・りんご土着カブリダニ保護体系における摘果剤、有機リン剤の影響と主要害虫防除効果(指導)
- ・県内りんごほ場におけるDMI剤抵抗性リンゴ黒星病菌の発生状況(研究)

## (5) 病虫害防除部

### 病虫害防除課

#### <病虫害発生予察>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報8回、注意報7回、特殊報1回に加え、防除速報13回を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、電子メールでの配信や、いわてアグリベンチャーネットへの掲載、マスコミ活用等により、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	8	月1回 : 3~10月
	注意報	7 (前年比2減)	水稻：いもち病・斑点米カメムシ類(2)、 りんご：黒星病、ハダニ類 ねぎ：ネギハモグリバエ及びネギアザミウマ(2)
	警 報	0	
	特殊報	1 (前年比2減)	さつまいも：サツマイモ基腐病
病虫害防除速報	—	13 (前年比2減)	・水稻(5回)：細菌病類、斑点米カメムシ類(2回)・ いもち病(2回、取置苗・葉いもち) ・小麦(2回)：雪腐病、赤かび病 ・りんご(3回)：モニリア病・黒星病・褐斑病 ・きゅうり(1回)：炭疽病 ・りんどう(2回)：リンドウホソハマキ、花腐菌核病

#### <病虫害防除指導>

本県の病虫害等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病虫害防除指導に取り組んだ。今年度の実績は、病虫害防除実績検討会を開催して主要病虫害の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の資とした。

水稻の病虫害防除指導においては、各地方の病虫害防除協議会、JA 稲作部会等が中心となり、病虫害防除所が発行する発生予察情報を活用した防除指導が実施され、加えて地域の一斉点検調査等の取組が行われた。現地調査ではいもち病と斑点米カメムシ類が広域で発生したほか、気象の影響で水稻の出穂期が早まり、斑点米カメムシ類の防除タイミングも例年より早まると予想されたことから、7/16 いもち病、7/27 と8/6 斑点米カメムシ類の注意報を発表して防除の徹底を呼び掛けた。また、巡回調査地点の農家90件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、気象の影響でりんごの展葉がかなり早まり、黒星病の感染時期も早まることが懸念されたため4/6に注意報を発表し、重点防除時期での防除の徹底を呼び掛けた。その後、調査地点で例年より早く褐斑病が確認されたため、6/24に防除速報を発表し、効果の高い薬剤による防除を呼び掛けた。また、ハダニ類の発生が目立つ樹園地が多かったため、8/6に注意報を発表した。なお、りんごの防除実績は、県内80の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜・花きについては、果菜類の主産地を抱える普及指導員及びJA 営農指導員、農家等を対象に、イムノストリップキットを用いた果菜類のウイルス病や細菌病診断技術の指導を行った。ねぎでは、5月からネギアザミウマが目立ち、6月にはネギハモグリバエの発生も多かったことから、これらの害虫の注意報を5/27と6/25に発表して早期の薬剤防除を呼び掛けた。

なお、防除実績を野菜21件、りんどう11件の農家から収集し、次年度の防除計画の策定に資した。

病虫害診断については、88件の依頼に対応した。診断依頼は例年トマト・ミニトマトの土壌病害診断が多い傾向があり、過去の診断事例と合わせて各病害の症状の特徴や発生時期等を技術情報としてとりまとめ、関係機関等に情報提供した。

県内でサツマイモ苗を生産する農家の圃場において、サツマイモ基腐病が初めて確認されたことから、速やかな防除対策を指導するとともに7/21に特殊報を発表し、関係機関等に注意喚起した。

#### <農薬適正使用指導>

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を例年開催している。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、講師・参加者ともに県内在住者に限定して「農薬適正販売・使用研修会」を開催した(6/30、受講者149名)。

また、農薬取締法に基づき325件の農薬販売者への立入検査を実施したほか、農薬使用基準違反および基準値超過事例の確認された使用者に対し3件の現地指導を行った。



## (6) 畜産研究所

### 家畜育種研究室

#### <家畜育種>

(肉用牛) 優秀な種雄牛を造成するため現場後代検定用牛6頭を選抜し、H30 交配種雄牛5頭の現場後代検定成績を公表した。また、黒毛和種肥育専業経営体の肥育期間短縮技術の確立と、日本短角種の出荷調整による損失軽減のための長期肥育試験の取組が順調に進み、それぞれ、1回目肥育試験の成績が判明した。

(養豚) バークシャー種の産肉能力向上のために種豚群の改良と生産農場向けの肥育期の給与飼料体系作出に取組み、肥育期間の TDN 制御が産肉能力に及ぼす影響を明らかにした。

(養鶏) 地域飼料(玄米とくず大豆)を有効活用した南部かしわへの給与実証試験を実施しその有効性が確認され、飼養マニュアルを公表した。また、平成 27 年度に母系素材鶏のロードアイランドレッドの改良により増体に優れる南部かしわの発育と産肉性のモデルを作成した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・母系素材鶏を改良した南部かしわの発育モデル (指導)
- ・日本短角種産肉能力検定(直接法)成績 (行政)
- ・日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績 (行政)

#### <家畜工学>

(遺伝子解析) 日本短角種の SNP 解析により、牛肉の「おいしさ」に関連するイノシン酸濃度の遺伝率は 0.16 で、バラの厚さと高い相関があることを明らかにした。また、黒毛和種牛肉の新たな価値として脂肪交雑の形状に着目し、SNP との連鎖解析を進めた。

(繁殖) 黒毛和種の分娩間隔短縮指標開発の試験では、特に寒冷期に飼料充足率が低い場合に平均空胎日数が有意に長くなる等、飼料充足率が分娩後の子宮回復状況や受胎成績に及ぼす影響が判明しつつある。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・日本短角種における牛肉中のイノシン酸濃度に関連する遺伝子頻度と遺伝率及びイノシン酸濃度を考慮した選抜指数式の作成 (研究)
- ・黒毛和種における分娩前後の栄養水準の違いが子宮環境回復、繁殖成績および子牛の発育に及ぼす影響(第2報) (研究)

### 家畜飼養・飼料研究室

#### <家畜飼養>

生体センサーを活用した乳用牛群管理技術の開発については、反芻における日内変動が規則的な牛と不規則な牛の存在を明らかにし、規則性の有無が乳量や反芻時間に影響を与える可能性を見出した。また、無乾乳分娩が乳牛の周産期疾病、泌乳性及び繁殖性に及ぼす影響検証では、県内の乳用牛群検定データ分析から、2産次以上の経産牛で乾乳期間の長短が乳牛の産乳・繁殖成績に及ぼす影響を明らかにした。この他、本年度から乳用牛群検定情報分析センターとして、現地の指導機関向けに牛群検定の地域別、市町村別生産成績を提供した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・乾乳期間の長短が乳牛の産乳・繁殖成績に及ぼす影響 (研究)

#### <飼料生産>

トウモロコシ市販品種の特性比較では、生育、収量特性がとくに優れる極早生品種2、早生品種2を県推奨品種候補とした。寒地型イネ科牧草では、チモシー(TY)の極早生2品種、ペレニアルライグラス(PR)の晩生3品種の特性を調査したが、TYは3年間の試験結果から有望品種選定に至らず、PRは次年度も調査を継続する。採草地におけるワルナスビ防除体系の確立では、選択制除草剤と OG の被陰効果並びにワルナスビの抑制に最適な草地更新手法の検討に加えて、除草剤の効果を高める展着剤の加用効果の検討に着手した。温暖化に対応した採草地管理については、OG 及び TY の播種晩限期、更新翌年の肥培管理方法、夏季高温を考慮した刈取間隔を検証し、OG 経年草地における刈取管理が栄養収量に与える影響について取りまとめ、研究成果(区分:研究)として公表した。

また、岩手県コントラクター等利用推進協議会に参画し、広域コントラクターや県内コントラクターの育成、強化に向けた活動を行った。県内で取組みが増えつつある子実用トウモロコシについて、東北農業研究センターが主宰する水稻乾田直播・子実用トウモロコシ普及促進会に参画し、情報収集を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ極早生品種「P8025」、「ゴールドデント KD085 ベローナ」(普及)
- ・乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ早生品種「パイオニア 108 日(34N84)」、「パイオニア 110 日(P1204)」(普及)
- ・オーチャードグラス経年草地における刈取り管理が栄養収量に与える影響(研究)

#### <牧草の放射線対策>

先端プロ実証研究において、除染草地の簡易更新時に利用した土壌改良カリ資材の牧草中放射性セシウム(RCs)濃度の抑制や牧草のテタニー比への影響を調査し、利用3年目においてカリ資材の効果が見られないことを確認した。

また、同研究では耕起困難草地の放牧利用における、カリの肥効の持続性や施肥労力の省力化をねらいとした緩効性肥料の施肥効果を検討するため、草地利用1年目の収量、牧草及び土壌の RCs 濃度、成分データ等を収集した。

### 外山畜産研究室

#### <子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛 83 頭(黒毛和種 38 頭、日本短角種 45 頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち 34 頭を1頭当たり平均 586 千円で販売した。(3月1日現在)

同様に日本短角種の子牛は 20 頭を出荷し、1頭当たり平均価格は 311 千円であった。

#### <成果の発信状況>

自然交配であるため交配日の把握が困難である日本短角種において分娩予定日を推察するため、BLE 受信機を装着した装着した種雄牛と BLE タグを装着した繁殖雌牛との距離を、BLE(Bluetooth Low Energy(BLE))の受信強度から推定し、接発情時期を把握する手法を検討。5分あたりの接近回数 12 時間移動平均が 1.8 回以上、1.2~1.3 日持続した場合、発情発見指数 64.3 と発情の推定が可能であった。また、放牧場における種雄牛の乗駕行動時の加速度の特徴は、前後方向 0.525g 以上、垂直方向 0.55 以下であり、加速度から乗駕行動を把握できる可能性を示した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・種雄牛における乗駕行動時の加速度の特徴及び乗駕行動発見指標(研究)
- ・Bluetooth Low Energy(BLE)の受信信号強度を用いた日本短角種自然交配牛群における発情時期の推定(研究)

#### <寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月24日から10月21日まで150日間放牧を実施し、生産者4戸から繁殖牛52頭と子牛34頭受入れた。

また、馬については5月18日から10月15日まで150日間放牧を実施し、雌馬4頭、雄馬1頭、子馬1頭を受入れた。昨年度に引き続き、今年度も、新型コロナウイルスの影響でチャグチャグ馬っこが中止となったことから、途中での退牧はなく、期間を通しての放牧となった。

### 種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補牛7頭を選定し直接検定を実施した。また、令和2年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補牛3頭(「菊福茂」、「隆照」及び「重桜」)を選抜した。現場後代検定については令和2年度に検定を開始した「星乃栄」「百合花智」の枝肉成績が判明し、この2頭を基幹種雄牛に選抜した。また「菊百合福」及び「八重金幸」は、枝肉成績が判明次第、選抜の可否を判断することとした。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・黒毛和種県産種雄牛「百合雲(ゆりぐも)」、「結乃宝(ゆいのたから)」、「暁雲(あきぐも)」の作出(普及)
- ・黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績(行政)
- ・黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績(行政)

#### <たねやま営業部の開設>

4月1日から会計年度任用職員1名を専任職員として配置し、県有種雄牛のPR活動を開始した。専任職員は研究員とともに、(一社)岩手県畜産協会が行う凍結精液の配送業務に同行して、家畜人工授精師等へPR資料を配布する等、販売活動

に取組んだ。

- ・配送業務に同行してのPR: 116 日
- ・Facebook、LINE での情報発信: Facebook 11 件、LINE 2件
- ・研修会等での情報発信: 3回

## (7) 県北農業研究所

### 園芸研究室

#### < 施設きゅうり栽培に適した環境制御技術の確立に向けた栽培試験を開始 >

県北・沿岸地域の冷涼気象や中山間地域の立地条件に対応した野菜の安定生産技術の確立に向け、各種試験研究を実施した。令和3年2月に北いわて型スマート農業技術を確立するため、高度な環境制御が可能な「環境制御型園芸温室」が竣工し、令和3年度から「施設きゅうり栽培に適した環境制御技術の確立」に向けた栽培試験を開始した。具体的には、きゅうり長期どり栽培体系での木質バイオマスエネルギー等を活用した暖房コスト低減技術の開発、並びに、低コスト環境制御技術の導入に向けた所内及び現地(二戸市)の既存のパイプハウスでのCO<sub>2</sub>施用の実証試験を実施した。

また、「雨よけほうれんそうにおけるミストによる簡易環境制御技術の開発」に向け、農業普及技術課農業革新支援担当や久慈、八幡平農業普及センターと連携して、ミスト制御による増収効果と品質向上効果について検証し、夏期高温時(特に、8～9月収穫)の単収向上及び品質の安定化に取り組んだ。

露地の主要品目であるキャベツについて、長期安定出荷のため、10月収穫作型に適した優良品種の選定と栽植密度・施肥量等の栽培法試験を、現地における栽培状況も確認しながら実施し、研究成果として取りまとめた。

以上の取組の中から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性(指導)
- ・キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件(指導)

### 作物研究室

先端技術を活用した農産物の高付加価値化を図る新品種育成と革新的な技術体系の確立に向けては「イノベーション創出強化研究推進事業(開発研究ステージ)」において、「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」として、前年度、選抜した有望系統1系統+次点1系統について、現地2か所(軽米、花巻)を含めて(一社)日本雑穀協会や(公財)岩手生物工学研究センターとの連携により、加工特性評価、機能性評価を行った。

機械移植に適した雑穀育苗技術の確立に向けて、448穴ポット苗の適切な育苗条件を検討し、育苗法とたまねぎ全自動移植機を用いた機械移植技術について成果として取りまとめた(R3研究成果)。更に、ポット苗田植機の移植精度の向上を図るため、工業技術センターと共同で移植爪の試作・改良に取り組む、室内試験での評価を行った。

雑穀の原種生産では、あわ1品種(ゆいこがね)、ひえ1品種(達磨)を採種した。

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。水稻は、岩手141号を有望視して栽培法の予備試験を行うとともに、水稻早生品種の担当者打合せを通じて今後の水稻育種推進の方向性の確認を行った。大豆は、東北190号の現地試験によりダイズシストセンチュウに対する抵抗性の評価を行い、品種登録につなげた。生産システム研究室と連名で令和3年産の水稻作柄要因として解析した(R3研究成果)。

リモートセンシングによる水稻生育診断技術の開発について、ドローンによる幼穂形成期前と成熟期前の画像撮影を行い、幼穂形成期の生育量推定と成熟期の推定並びにタンパク含量推定の検討を行った。また、解析はメーカーに委託することで進めたが、別途、担当者が自ら解析できる手法の修得を行った。

県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立に向けて、事業導入したRTK-GNSS方式の自動操舵機器の傾斜地適応性や、機器の違いによる測位精度の確認を行うとともに、雑穀、露地野菜の機械除草技術への利用法について検討を行った。

また、農業機械技術クラスター事業に公募した、雑穀類対応コンバインの開発事業が採択を受け、たかきび、アマランサス等を対象にした汎用コンバインの開発を開始し、既存収穫機の適応性を評価した。

その他、研究課題や地域課題、その解決策について共有を目的に、各種研修会等への参加も積極的に行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・ポット苗田植機に適した雑穀の育苗法(指導)
- ・たまねぎ全自動移植機を用いた雑穀の機械移植技術(指導)

#### 4 令和3年度試験研究課題

##### (1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		農業構造・経営管理	生産工学	水稻	畑作物	特産作物	果樹	野菜	花き	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境
企画管理部	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	5	5														
生産基盤研究部	52	1	5	32	9	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0
水田利用研究室	22	1	3	7	9			1			1					
生産システム研究室	14		2	9				2			1					
作物育種研究室	16			16												
園芸技術研究部	65	1	0	0	0	0	26	22	12	0	4	0	0	0	0	0
果樹研究室	28						26				2					
野菜研究室	16	1						14			1					
花き研究室	13								12		1					
南部園芸研究室	8							8								
生産環境研究部	32	1	0	1	2	0	1	3	0	8	16	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	13	1		1	1			2		8						
病理昆虫研究室	19				1		1	1			16					
畜産研究所	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15	3	9	0
家畜育種研究室	13												10	3		
家畜飼養・飼料研究室	9											2	1		6	
外山畜産研究室	3														3	
種山畜産研究室	4												4			
県北農業研究所	31	0	3	10	4	5	0	7	0	0	2	0	0	0	0	0
園芸研究室	9		1					7			1					
作物研究室	22		2	10	4	5					1					
総計	214	8	8	43	15	5	27	35	12	8	24	2	15	3	9	0

- ※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上  
 2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上  
 3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No. : 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示  
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助;国庫補助事業、国庫委託;国庫委託事業、独法委託;独法委託事業、民間委託;民間委託事業  
令達;令達予算研究、県単研究;県単予算予算、県単採種;主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【農業経営研究室】</b>						
農業経営	1	(R3-1)集落営農組織の実態・課題を踏まえた経営維持・発展方向の提示	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	2	(R3-2)経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	3	(R3-3)2020年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	4	(R3-4)スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	5	(R3-19)水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジメント手法の提示	R3	R7	県単	農業経営/野菜/土壌肥料
<b>【生産基盤研究部水田利用研究室】</b>						
水田利用	6	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-1000)予備調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-2000)本調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-3000)現地調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	R5	県単	水田利用/土壌肥料/作物
水田利用	7	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	R5	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	R5	民間委託	水田利用
水田利用		(807-2000)水稲高拡散除草剤の省力効果	R3	R3	民間委託	水田利用
水田利用		(807-3000)畦畔雑草の草刈り方法	R3	R5	民間委託	水田利用
水田利用	8	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R5	独法委託	水田利用
水田利用	9	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用	10	(891)畑作物原々種・原種生産	H22	R5	県単	水田利用
水田利用	11	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H23	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H23	R5	県単	水田利用
水田利用	12	(H19-13)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H26	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用
水田利用	13	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	R3	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-1000)地下水水位制御システムによる土壌水分制御技術の確立	H30	R3	令達	水田利用
水田利用		(H30-02-2000)主要水田農作物(水稲・大豆等)での営農実証	R1	R3	令達	水田利用
水田利用		(H30-02-3000)ほ場水管理システムの導入実証	R3	R3	令達	水田利用
水田利用		(R2-1-2000)水田転換畑における土地利用型野菜の土壌管理技術	R2	R4	県単	水田利用/野菜/土壌肥料
水田利用	14	(R2-4)小麦「ナンブキラリ」の高品質安定栽培法	R2	R4	県単	水田利用/土壌肥料/病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産基盤研究部生産システム研究室】</b>						
生産システム	15	(61)水稲原々種生産	S22	R5	県単	生産システム
生産システム	16	(62)水稲原種生産	S29	R5	県単	生産システム
生産システム	17	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1000)水稲作況調査	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	R5	県単	生産システム
生産システム		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム
生産システム	18	(R1-1)露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム/園芸/作物
生産システム		(R1-1-1000)GNSSを活用した効率的な作業管理技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
生産システム		(R1-1-2000)リモートセンシングを活用した生育斉一化および収量予測技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
生産システム	19	(R2-9)岩手県における水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培技術の実証	R2	R4	独法等委託	生産システム
生産システム	20	(R3-5)リモートセンシングによる水稲生育診断技術の開発	R3	R5	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-1000)ドローンによる生育診断技術の確立	R3	R5	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-2000)ドローンによる玄米タンパク質含有率及び成熟期推定技術の確立	R3	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(R3-5-3000)衛星画像による生育状況の把握及び活用法の検討	R3	R5	県単	生産システム
<b>【生産基盤研究部作物育種研究室】</b>						
作物育種	21	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	R3	令達	作物育種/作物
作物育種		(H27-03-3000)個体選抜	H27	R3	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-4000)系統選抜	H27	R3	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-5000)生産力検定試験	H26	R3	独法委託	作物育種/作物
作物育種		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	R3	県単	作物育種
作物育種		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	R3	県単	作物育種
作物育種	22	(H30-22)イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	H30	R4	独法委託	作物育種
作物育種	23	(H31-07)多様なニーズに対応する水稲品種の育成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)特性検定	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)後代系統の評価・選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)育成系統採種	R1	R5	令達	作物育種
作物育種	24	(R2-8)チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	R2	R4	独法委託	作物育種
作物育種		(R2-8-1000)コンビニエンスストアチルド米飯に適する超多収低アミロース米系統の育成	R2	R4	独法委託	作物育種
作物育種	25	(R3-22)精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稲品種の育成	R3	R7	独法委託	作物育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部果樹研究室】</b>						
果樹	26	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R5	民間委託	果樹
果樹	27	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹	28	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	R5	令達	果樹
果樹	29	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-3000)優良品種に対する摘花剤及び摘果剤の効果の検討	R1	R3	県単	果樹
果樹	30	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単・独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単	果樹
果樹	31	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	R6	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	R6	県単/独法等委託	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	R6	県単	果樹/病理昆虫
果樹	32	(H30-17)生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-17-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単	果樹
果樹		(H30-17-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法委託	果樹
果樹		(H30-17-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-17-4000)耐寒性品種の育成及び選抜	H30	R4	令達	果樹
果樹	33	(H30-18)醸造用ぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単/令達	果樹
果樹		(H30-18-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法委託	果樹
果樹		(H30-18-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-4000)優良品種の垣根栽培の実証	H30	R4	令達/独法委託	果樹
果樹	34	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72~74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	35	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹	36	(R3-8)ブルーベリーにおける省力的な簡易剪定技術の確立	R3	R7	県単	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部野菜研究室】</b>						
野菜	37	(R2-1)水田転換畑を活用した土地利用型野菜の安定生産技術の確立	R2	R4	県単	野菜/水田利用/土壌肥料/病理昆虫
野菜		(R2-1-1000)長期安定出荷のための水田たまねぎ栽培技術の確立	R2	R4	県単	野菜
野菜		(R2-1-2000)水田転換畑における土地利用型野菜の土壌管理技術	R2	R4	県単	野菜水田利用/土壌肥料
野菜		(R2-1-3000)たまねぎにおける効率的防除技術の確立(ドローン防除)	R2	R4	県単	野菜/病理昆虫
野菜		(R2-1-4000)たまねぎを中心に水田転換畑を活用した新たな土地利用型野菜の探索	R2	R4	県単	野菜
野菜		(R2-1-6000)タマネギセット栽培管理技術の開発	R3	R5	県単	野菜
野菜	38	(R3-7)施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	県単・独法等委託	野菜
野菜		(R3-7-1000)効率的な局所施用システムの構築	R3	R4	県単・独法等委託	野菜
野菜		(R3-7-2000)主要果菜における主要作型での局所施用効果の解明	R3	R5	県単	野菜
野菜		(R3-7-3000)局所施用システムの現地実証	R3	R5	令達	野菜
野菜		(R3-7-4000)トマト周年栽培における局所加温技術の開発	R3	R5	県単	野菜
野菜		(R3-7-5000)キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	独法委託	野菜
野菜	39	(R3-9)夏秋ピーマン安定生産技術の確立	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-1000)夏秋栽培における尻腐れ症対策技術の確立	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-2000)大規模経営での導入を想定した省力的な整枝・誘引方法	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-3000)環境制御機器導入効果の検討	R3	R5	令達	野菜
野菜	40	(R3-23)夏秋雨よけほうれんそうの無遮光栽培技術の開発	R3	R3	独法委託	野菜
<b>【園芸技術部花き研究室】</b>						
花き	41	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-2000)塊茎・越冬芽等の形態形成機構と制御条件の解明	H14	R5	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R5	県単	花き
花き	42	(H30-06)産地を強化するリンドウの品種育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-1000)親系統の育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-2000)親系統の維持	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-4000)未受精胚珠培養等による純系リンドウの作出	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-6000)花持ちが良く、省力栽培に適したりんどう育種素材の作出	R1	R5	独法委託	花き
花き	43	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-2000)鉢物りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き	44	(R2-11)りんどうの開花制御基盤技術の開発	R2	R4	独法委託	花き
花き		(R2-11-1000)りんどうの光周性に関するDNAマーカーを利用した育種母本の選抜	R2	R4	独法委託	花き
花き		(R2-11-2000)光周性りんどうの開花制御に対する薬剤処理の有効性の確認	R2	R4	独法委託	花き



主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部南部園芸研究室】</b>						
南部園芸	45	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R7	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸	46	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-1000)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-2000)いちご閉鎖型高設栽培システムのベンチ改善	R2	R4	県単	南部園芸
南部園芸	47	(R3-10)いちご夏秋作型における秋期収量向上のための草勢維持管理技術の開発	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-1000)電照用電球のLED代替技術の検証	R3	R5	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-2000)草勢維持のための株管理手法の改良	R4	R6	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-3000)定植苗の芽数増加手法の開発	R4	R6	県単	南部園芸
<b>【生産環境研究部土壌肥料研究室】</b>						
土壌肥料	48	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R5	県単	土壌肥料
土壌肥料	49	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料	50	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料	51	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R8	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	52	(H30-04)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H30-04-2000)麦栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	53	(H30-26)省力的かつ実効性の高いコメ中無機ヒ素濃度低減技術の開発	H30	R4	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料		(H30-26-1000)水田営農における地力・生産力向上技術の実証	H30	R4	国庫委託	土壌肥料/水田利用/生産システム
土壌肥料	54	(H31-01)水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稻生育改善対策	R1	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	55	(R2-10)革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	R2	R4	独法等委託	土壌肥料

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産環境研究部病理昆虫研究室】</b>						
病理昆虫	56	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	R5	民間委託	作物/園芸
病理昆虫		(402-4000)生産環境研究部	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)園芸技術研究部	H16	R5	民間委託	果樹
病理昆虫	57	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R5	令達	病理昆虫
病理昆虫	58	(H29-08)AIを活用した病害虫早期診断技術の開発	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H29-08-1000)トマトで発生する病害虫被害の検証	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H29-08-2000)病害虫診断システムの実証	R2	R3	県単	病理昆虫
病理昆虫	59	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫/果樹
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-2000)りんご園地における下草管理による生育への影響	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	60	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	61	(H30-28)トマトうどんこ病発生予測システムの実用化	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-1000)感染好適条件の解明	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-2000)ほ場における発病予測機能の検証	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	62	(H31-13)ナス果実小陥没症の発生生態の解明と防除技術の確立	R1	R3	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	63	(R2-5)ダイズ紫斑病におけるQol耐性菌の簡便で迅速な薬剤感受性検定手法及び防除体系の確立	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	64	(R2-6)リンゴ褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(R3-20)殺虫剤を使用しない斑点米カメムシ総合防除体系の検討	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/水田利用/生産システム
病理昆虫		(R3-20-1000)畦畔管理体系の確立	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/水田利用
病理昆虫		(R3-20-2000)割れ靱に関する品種特性の把握	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/生産システム
<b>【畜産研究所家畜育種研究室】</b>						
家畜育種	66	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	67	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	68	(H28-06)生産農場におけるパークシャー種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	R3	県単	家畜育種
家畜育種	69	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R4	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種	70	(H31-04)牛枝肉の画像解析による脂肪交雑形状評価方法の検証	R1	R3	令達	家畜育種
家畜育種	71	(H31-05)黒毛和種における分娩間隔短縮のための子宮回復の評価基準の作成と早期回復技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	72	(H31-06)地域飼料の有効活用による南部かしわ飼養技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	73	(H31-14)SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	R1	R3	令達	家畜育種
家畜育種	74	(R2-2)周年出荷のための日本短角種長期肥育技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種
家畜育種	75	(R3-13)母系素材鶏を改良した南部かしわの特性および長期飼育技術の確立	R3	R5	県単	家畜育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】</b>						
家畜飼養・飼料	76	(H30-11)チモシー極早生新系統の特性確認	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	77	(H30-12)採草地におけるワルナスビ防除体系の確立	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	78	(H31-03)生体センサーを活用した乳用牛群管理モニタリングシステムの開発	R1	R4	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	79	(R2-3)肥育前期に混合飼料を活用した黒毛和種肥育期間短縮技術の確立	R2	R6	独法委託	家畜飼養・飼料/家畜育種
家畜飼養・飼料	80	(R3-12)無乾乳分娩が乳牛の周産期疾病、泌乳性及び繁殖性に及ぼす影響	R3	R6	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(R3-14)ペレニアルライグラス晩生優良品種の特性確認	R3	R5	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(R3-15)飼料用とうもろこし市販品種の特性比較	R3	R6	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(R3-16)温暖化に対応した採草地管理	R3	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(R3-24)除染草地と耕起困難草地における放射性セシウム吸収抑制のための維持管理技術の開発	R3	R7	独法委託	家畜飼養・飼料
<b>【畜産研究所外山畜産研究室】</b>						
外山畜産	85	(R2-7)放牧牛における準天頂衛星対応トラッキングサービスの応用	R2	R4	県単	外山畜産
外山畜産	86	(R3-17)ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模放牧地の効率的植生診断技術の確立	R3	R5	県単	外山畜産
外山畜産	87	(R3-18)日本短角種における自然交配時の分娩時期の推定	R3	R6	県単	外山畜産
<b>【畜産研究所種山畜産研究室】</b>						
種山畜産	88	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	89	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	90	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R5	県単	種山畜産
<b>【県北農業研究所園芸研究室】</b>						
園芸(県北)	91	(H27-12)春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立	H27	R3	県単	園芸
園芸(県北)		(H27-12-1000)長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	H27	R3	県単	園芸
園芸(県北)		(H27-12-2000)春系キャベツの生育齊一化技術の確立	R1	R3	県単	園芸
園芸(県北)		(R3-6-2000)露地栽培野菜における高精度直播栽培体系の適用可能品目の探索	R3	R5	令達	園芸
園芸(県北)	92	(R3-11)県北地域の施設きゅうり等に適した環境制御技術の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)		(R3-11-1000)県北地域に適した低コスト暖房技術の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)		(R3-11-2000)県北地域のきゅうり等栽培に適したCO2施用法の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)	93	(R3-21)抵抗性品種によるキャベツ根こぶ病対策の確立	R3	R5	令達	園芸
園芸(県北)		(R3-21-1000)既存の抵抗性寒玉系品種の特性評価	R3	R5	令達	園芸
<b>【県北農業研究所作物研究室】</b>						
水田利用		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	R5	県単	作物
水田利用		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	R5	県単	作物
作物(県北)	94	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R5	令達	作物
作物(県北)	95	(H31-02)機械移植に適した雑穀育苗技術の確立	R1	R3	県単	作物
作物(県北)	96	(H31-08)収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	R1	R5	独法等委託	作物
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R5	独法等委託	作物
作物(県北)		(H31-08-2000)アワ栽培方法の確立	R2	R4	独法等委託	作物
作物(県北)		(H31-08-3000)アワ現地適応性評価	R2	R4	県単	作物
作物(県北)	97	(R3-6)県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立	R3	R5	国庫委託	作物
作物(県北)		(R3-6-1000)雑穀における高精度直播栽培体系の確立	R3	R5	国庫委託	作物
作物(県北)	98	(R3-25)雑穀類対応コンバインの開発と収穫適応性の評価	R3	R6	独法等委託	作物

(3) 令和4年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置区分
1	農産	1	農産園芸課	既存の田植機で移植可能な高密度播種苗移植栽培技術の確立	○生産基盤研究部生産システム研究室	B,C
2	農産	2	全農いわて	水稻種子消毒剤使用時の処理方法別効果の再検討	○生産環境研究部病理昆虫研究室 生産基盤研究部生産システム研究室	C
3	農産	3	全農いわて	ひとめぼれ特A奪還に向けた技術対策	○生産基盤研究部生産システム研究室	B,C
4	農産	4	全農いわて	合成樹脂等の膜による肥効調節型肥料(以下「被覆肥料」)を使用しない水稻省力・低コスト施肥体系の確立	○生産環境研究部土壌肥料研究室 生産基盤研究部生産システム研究室	B
5	農産	5	農業農村指導士協会	寒冷地で安定栽培できる大豆早生品種の育成	○生産基盤研究部水田利用研究室 県北農業研究所作物研究室	B
6	農産	6	農業農村指導士協会	大豆高速高精度播種機の中山間地域での適応性	○生産基盤研究部水田利用研究室 県北農業研究所作物研究室	C
7	農産	7	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	小麦採種ほにおける条斑病の防除対策	○生産環境研究部病理昆虫研究室 生産基盤研究部水田利用研究室	C
8	園芸	1	盛岡農業改良普及センター	省力化や気象災害の発生軽減が期待できる「カラムナータイプリング」品種の育成	○園芸技術研究部果樹研究室	B,C
9	園芸	2	農業農村指導士協会	果樹栽培における人工授粉技術の開発	○園芸技術研究部果樹研究室	C,A3(R5)
10	園芸	3	農業農村指導士協会	果樹栽培における晩霜被害対策	○園芸技術研究部果樹研究室	B,C
11	園芸	4	全農いわて	有袋はるかに対する摘果剤の効果確認	○園芸技術研究部野菜研究室	B,C
12	園芸	5	農村計画課	水田を活用した新たな土地利用野菜の選定	○園芸技術研究部野菜研究室 企画管理部農業経営研究室	B
13	園芸	6	県北広域振興局農政部	岩手県におけるアスパラガスハウス半促成作型の栽培法	○園芸技術研究部野菜研究室 県北農業研究所園芸研究室	C
14	園芸	7	九戸村(岩手県認定農業者組織連絡協議会経由)	トマトの2本仕立て斜め誘引	○園芸技術研究部野菜研究室	C
15	園芸	8	一関農業改良普及センター	いちごの花芽分化安定化技術	○園芸技術研究部南部園芸研究室	D,A3(R4)
16	園芸	9	盛岡農業改良普及センター	りんどうの主要病害の発生生態に基づく防除体系の見直しおよび同時防除剤の探索	○生産環境研究部病理昆虫研究室	B
17	畜産	1	畜産課	乳用牛群検定成績の解析による生産性向上要因の分析と活用方法の検討	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	B,A1
18	畜産	2	全農いわて	乳牛に対する温水給与による厳寒期の生産性低下防止について	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	C,D
19	畜産	3	全農いわて	繋ぎ飼いにおけるTMRの給与方法について	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	A1

## 5 共同研究等の推進

### (1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発	農業環境変動研究センター(*)	H30～R4	水管理・資材施用によるヒ素・カドミウムの同時低減のための現場実行性の高い栽培管理技術の開発	土壌肥料
AIを活用した病害虫診断技術の開発	中央農業研究センター(*)	H29～R3	岩手県のトマト産地で発生する主要病害虫の発生実態調査と被害進行に応じた電子画像データの取得と人工知能の実証	病理昆虫
果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	果樹茶業研究部門(*)	R2～6	リンゴでの急性枯死症状の発生実態と対策技術の開発	果樹、病理昆虫
ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発	岩手生物工学研究センター	R元～5	(1)リンドウにおけるゲノム編集の高度化技術の開発と利用 (2)リンドウ新規育種素材の開発と利用	花き
先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立	東北農業研究センター(*)	R3～7	キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	野菜
特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証委託事業	東北農業研究センター(*)	R3～7	草地における放射性セシウム吸収抑制技術の開発・実証と未除草地利用可否判断基準の策定	家畜飼養・飼料

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (2) イノベーション創出強化研究推進事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	R3～7	これまでに得られたゲノム情報と作出した育種素材を活用し、葉身形態に関する遺伝子領域を集積させた系統の個葉光合成能および乾物生産能力を明らかにするとともに、不良形質の発現を回避しながら有用形質関連遺伝子を集積する精緻なゲノム育種により迅速な品種育成と栽培特性把握を行う。	作物育種
施設園芸の主要病害発生予測AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	公立大学法人秋田県立大学	H30～4	トマトうどんこ病のほ場での実証	病理昆虫
雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立	岩手県	R元～4	(1)アワ品種の育成 (2)アワ品種の多収栽培法と機械栽培体系の確立	作物
革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	農業環境変動研究センター(*)	R2～4	(1)AI搭載型土壌調査支援アプリ「e-壤図PRO」の開発 (2)土壌温度・水分モデルの開発と見える化 (3)土壌窒素動態モデルの開発と見える化	土壌肥料
儲かる業務用米生産を実現する無コーティング種子湛水直播栽培技術の確立	東北農業研究センター(*)	R2～4	業務用米の無コーティング直播栽培による生産拡大に向けた、安定栽培技術の確立、適用地域の拡大、折りたたみ式ハローに対応した高能率な大型播種機の開発	生産システム

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	岩手県	R2～4	(1)中食市場をけん引するコンビニエンスストア向けチルド米飯用の超多収低アミロース米水稻系統の育成 (2)米飯の加工適性の向上や既存のコールドチェーンシステムへの適合性向上を目指し、中食市場における製造効率化と食品ロス削減に寄与する技術の開発	作物育種
中性園芸作物リンドウの開花制御基盤技術の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	R2～4	りんどう生産上の大きな課題である需要期に合わせた供給の確実性を向上させるため、中性植物であるリンドウの開花制御技術の確立を目指す。	花き
ミストで夏ノ暑サにも負けない雨よけハウレンソウの増収技術を開発	岩手県	R3	夏秋雨よけハウレンソウの無遮光栽培技術の開発	野菜
省力・大規模化と収穫・出荷期間の大幅拡大を可能とするタマネギセット栽培体系の構築	東北農業研究センター(*)	R3	セット春植および秋植栽培に適する品種・定植時期等の検討	野菜

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (3) 公設試等連携可能性調査(県ふるさと振興部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
有機質肥料の施用効果に関連する土壌微生物叢の調査	(公財)岩手生物工学研究センター	R3	土壌微生物叢を解析する技術を生工研で構築し、農業研究センター土壌肥料研究室が保有する過去40年の土壌サンプルを用いて、有機物資材施用等の土壌管理の差が土壌微生物叢と農業生産性に及ぼす影響の解明を試みる。	土壌肥料
持続的な雑穀生産に向けた病害抵抗性遺伝子の同定と抵抗性遺伝子保有系統の探索	(公財)岩手生物工学研究センター	R3	あわにおけるいもち病抵抗性遺伝子本体を同定し、育種に利用可能な精度の高いDNAマーカーを開発する。	作物

### (4) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	R2～6	耐病性に優れた府県向け高品質安定多収小麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	西日本農業研究センター(*)	R2～6	耐病性に優れた安定多収で、高品質で加工適性に優れた精麦用大麦・裸麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	R3	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27～	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
我が国の輸出に有利な国際的検疫処理基準の確立、実証事業	中央農業研究センター(*) 果樹茶業研究部門(*)	H28～	(1)モモシクイガ、ナシヒメシクイ等検疫措置の確立 (2)病害虫の発生状況調査等のデータ収集及びとりまとめ	病理昆虫
品種登録制度におけるDNA判定技術の高度化	生物機能利用研究部門(*)	R3	イネ縞葉枯病抵抗性に係る品種登録審査へのDNA技術の導入調査	作物育種

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	畜産研究部門(*)	R3～5	黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	家畜育種
受託研究	農業機械研究部門(*)	R3～5	雑穀類対応コンバインの開発	作物

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

#### (5) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	水田利用、生産システム、果樹、野菜、作物
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、小麦、大豆、りんご、トマト、レタス、タマネギ(春まき)、キャベツ、オーチャードグラス	水田利用、生産システム、果樹、野菜、土壌肥料、園芸、家畜飼養・飼料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
日本短角種高品質赤肉生産開発事業	国立大学法人東北大学(JRA事業)	SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	家畜育種
環境保全を配慮した生産技術の評価・確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	「岩手県の水稲栽培におけるリモートセンシング結果を用いた生育診断技術の確立	土壌肥料
令和3年度栽培マニュアルプラットフォーム実証業務	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(NTT東日本(株))	「シャインマスカット」の無加温ハウス栽培園に設置するIoTセンサーによるデータ収集による栽培マニュアルの構築	果樹
日本ワインのテロワールの解明	日本ワイナリー協会(独立行政法人酒類総合研究所)	岩手県内のワイン用ブドウの生育、及び熟期の果実成分に関する調査	果樹
全国農業システム化研究会実証調査	(一社)全国農業改良普及支援協会	アグリロボ田植機(無人仕様)での鉄コーティング直播播種作業による省力・コスト低減効果の検証	生産システム
令和3年度稲民間育成品種評価試験	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会	民間において育成された稲の品種に関する評価試験、育成品種に関する特性及び生産力等の解明	作物育種

**(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究**

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稻における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稻品種の育成	作物育種
雑穀における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	ゲノム解析技術をアワ、キビ、タカキビ、ヒエなどイネ科雑穀に適用し、農業上重要形質に関わる有用遺伝子を同定し、その機能を解明する。	作物
リンドウの新品種開発支援・促進技術の開発 リンドウ等の新規有用遺伝資源の開発	園芸資源研究部	R元～5	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 安定栽培に寄与する情報として生理・生態の解明 重イオンビームを利用した花色・花形・開花期・耐病性等の有用形質に関わる新規育種素材の開発	花き
現場ニーズに対応した即応的 植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部	R元～5	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)の感染実験系の確立と耐病性研究への利用	病理昆虫
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～ R4	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

**(7) 他の公設試との共同研究**

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

**(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)**

開催月日	場所	内容
(なし)		

**(9) その他共同研究**

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	遺伝資源研究センター(*)	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
「ナンプコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～ R4	「東北195号」を縞萎縮病抵抗性遺伝資源とし、「ナンプコムギ」を連続戻し交配することにより、「ナンプコムギ」と同等の品質で縞萎縮病抵抗性を有する系統を育成する。	水田利用
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、宮城県農業・園芸総合研究所	R元～8	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構



課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲いもち病圃場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定	東北農業研究センター (*)、青森県産業技術研究センター農林総合研究所 (**), 宮城県古川農業試験場、秋田県農業試験場、山形県、福島県	R3~5	今後の稲いもち病抵抗性評価で正確性を期すため、未だ基準品種が策定されていない真性抵抗性遺伝子型「 <i>Pii</i> 」 「 <i>Pik</i> 」 「 <i>Pib</i> 」等に対応する基準品種の追加策定を行う。	作物育種

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

\*\* 地方独立行政法人

#### (10) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	R3.6.28	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	令和2年度活動報告および3年度事業計画について	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	R3.12.1	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	最近の研究シーズ18件のプレゼンテーション	研究企画室

※1 令和3年度リエゾンIマッチングフェアでプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
ワイン品質に優れ本県でも栽培容易な醸造用ぶどう品種の選抜	果樹研究室

## 6 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水稲奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	長山	生産基盤研究部 水田利用
(粳)	紫波町	大巻	
(粳)	岩手町	土川	
(粳)	花巻市	鍋倉	
(粳)	西和賀町	沢内前郷	
(粳)	奥州市	江刺稻瀬	
(粳)	一関市	菽荘	
(粳)	大船渡市	日頃市	
(粳)	遠野市	上郷町	
(粳)	山田町	豊間根	
(粳)	久慈市	夏井	
(粳)	二戸市	安比	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺田原 玉山	
岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	花巻市 花巻市	石鳥谷町新堀 万丁目	
岩手県における水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培技術の実証	矢巾町		生産基盤研究部 生産システム
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 盛岡市 奥州市 一関市 一関市	金田一 内の沢 元村 黒川 江刺米里 花泉町金沢 舞川	園芸技術研究部 果樹
各地域に適したりんご早期成園化技術の実証	紫波町	長岡	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	陸前高田市 野田村	米崎町 根井	
「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究現場ニーズプロジェクト」果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	奥州市	江刺鴨沢	
りんごのJM台木利用樹における樹勢衰弱症状対策技術の現地実証	花巻市	石鳥谷町滝田	
ブルーベリー簡易剪定法の現地実証	軽米町	観音林	
「栽培マニュアルプラットフォーム実証業務」	花巻市	矢沢 大迫	

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
「施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発」 (局所施用システムの現地実証)	盛岡市 八幡平市 奥州市 一関市 宮古市 大槌町	猪去 松尾 胆沢 大東 田鎖 大槌	園芸技術研究部 野菜
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (切り花向け有望系統の現地適応性試験)	奥州市 雫石町 一戸町	衣川 七ツ森 小友	園芸技術研究部 花き
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (鉢花向け有望系統の現地適応性試験)	北上市	岩崎	
「水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稻生育改善対策」	北上市 北上市	更木 二子	生産環境研究部 土壌肥料
「新肥料の実用化」 遊離酸化鉄が不足する水田への含鉄資材施用効果の確認	花巻市	中根子	
新農薬の効果試験と防除指針作成 ①ねぎ小菌核病 ②ねぎ小菌核病 ③りんどう黒斑病	①花巻市 ②北上市 ③雫石町	①新堀 ②藤根 ③西山	生産環境研究部 病理昆虫
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (現地調査)	花巻市	石鳥谷 東和	
ホップ生産における病害虫防除に関する包括的研究(気象変動を考慮したハダニ類防除技術の検討)	奥州市	江刺	
地域飼料を有効活用した南部かしわの飼料給与技術の開発	雫石町	長山	畜産研究所 家畜育種
黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与	八幡平市	寺田	畜産研究所 外山畜産
ペレニアルライグラス晩生優良品種の特性確認(追播技術の実証)	滝沢市	相の沢	畜産研究所 家畜飼養・飼料
中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新作業型の開発	二戸市	似鳥	県北農業研究所 園芸
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証(畦立・施肥作業の高精度化実証、キャベツ)	八幡平市	田代平	
県北地域のきゅうり等栽培に適したCO <sub>2</sub> 施用法の開発	二戸市	舌崎	
水稻奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	二戸市 久慈市	安比 宿戸	県北農業研究所 作物
収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	軽米町 花巻市	上館 諏訪	
大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査(東北190号)	軽米町	上館	
雑穀類対応コンバインの開発	軽米町	山内	



### Ⅲ 試験研究の成果



### Ⅲ 試験研究の成果

#### 1 試験研究成果

##### (1)令和3年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		2	1		3
2 生産工学		1	1	2	4
3 水稻		3	4		7
4 畑作物					0
5 特産作物		2			2
6 果樹		2	1		3
7 野菜		4		2	6
8 花き	1	1	1		3
9 土壌作物栄養		2			2
10 病虫害制御		3		1	4
11 乳用牛				1	1
12 肉用牛	1		4	4	9
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物	2			1	3
15 畜産環境					0
[ 計 ]	4	21	12	11	48

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

## (2)令和3年度成果名一覧

### 【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
花き	R3-普-01	鉢花向け濃桃色りんどう品種「Bzc-1 mut1」の育成	花き
草地・飼料作物	R3-普-02	乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ極早生品種「P8025」、「ゴールドデントKD085ベローナ」	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	R3-普-03	乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ早生品種「パイオニア108日(34N84)」、「パイオニア110日(P1204)」	家畜飼養・飼料
肉用牛	R3-普-04	黒毛和種県産種雄牛「百合雲(ゆりぐも)」、「結乃宝(ゆいのたから)」、「暁雲(あきぐも)」の作出	種山畜産

### 【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稻	R3-指-01	1ha規模大区画水田における自己拡散型浮遊粒除草剤の畦畔1辺処理による省力効果	水田利用
水稻	R3-指-02	「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播栽培可能地域	生産システム
水稻	R3-指-03	令和3年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
土壌作物栄養	R3-指-04	県内水田土壌35年間の施肥管理と化学性の変化(追補)	土壌肥料
生産工学	R3-指-05	傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術	生産システム
土壌作物栄養	R3-指-06	小麦栽培における緑肥作物の導入効果	土壌肥料
病虫害制御	R3-指-07	大豆種子生産における耐性菌発生リスクを考慮した紫斑病防除体系	病理昆虫
特産作物	R3-指-08	ポット苗田植機に適した雑穀の育苗法	作物
特産作物	R3-指-09	たまねぎ全自動移植機を用いた雑穀の機械移植技術	作物
果樹	R3-指-10	岩手県における「シャインマスカット」の成熟に要する積算温度及び収量の影響	果樹
果樹	R3-指-11	令和3年4月の凍霜害におけるりんごの被害実態	果樹
病虫害制御	R3-指-12	りんご土着カブリダニ保護体系における摘果剤、有機リン剤の影響と主要害虫防除効果	病理昆虫
農業構造・経営管理	R3-指-13	水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目－確認・指導すべき項目のチェックリスト－	農業経営
農業構造・経営管理	R3-指-14	大規模露地野菜作のスマート農業技術体系データ	農業経営
野菜	R3-指-15	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の日焼け球の発生	野菜
野菜	R3-指-16	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安	野菜
病虫害制御	R3-指-17	ナス果実小陥没症の発生抑制対策	病理昆虫
野菜	R3-指-18	キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性	園芸



分野	成果番号	成果名	担当研究室
野菜	R3-指-19	キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件	園芸
花き	R3-指-20	栄養系鉢花りんどう「Bzc-1」における挿し穂冷蔵法	花き
中小家畜	R3-指-21	母系素材鶏を改良した南部かしわの発育モデル	家畜育種

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R3-行-01	農林業センサス分析支援シート	農業経営
水稻	R3-行-02	令和3年度における水稻奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
生産工学	R3-行-03	既設暗渠を活用した地下かんがいシステムの特徴	水田利用
水稻	R3-行-04	岩手県的水稻主要4品種における移植栽培可能地域の算定	生産システム
水稻	R3-行-05	令和4年度水稻奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統	作物育種
水稻	R3-行-06	令和4年度水稻奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手147号」、「岩手148号」、「岩手149号」、「岩手150号」	作物育種
果樹	R3-行-07	りんご育成系統「岩手19号」、「岩手20号」の果実特性	果樹
花き	R3-行-08	令和3年度りんどう奨励品種決定試験・現地試験結果	花き
肉用牛	R3-行-09	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R3-行-10	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R3-行-11	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R3-行-12	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
生産工学	R3-研-01	無人航空機(ドローン)で撮影した可視光画像から得られた植生指数(VARI値)による水稻栄養診断の可能性	生産システム
生産工学	R3-研-02	低コストRTK-GNSSデータロガーの特徴	生産システム
病虫害制御	R3-研-03	県内りんごほ場におけるDMI剤耐性リンゴ黒星病菌の分布状況	病理昆虫
野菜	R3-研-04	60~100坪のパイプハウスに適した小型炭酸ガス発生機の主な仕様と性能評価	野菜
野菜	R3-研-05	雨よけほうれんそう栽培におけるミスト加湿の効果	野菜
肉用牛	R3-研-06	日本短角種における牛肉中のイノシン酸濃度に関連する遺伝子頻度と遺伝率及びイノシン酸濃度を考慮した選抜指数式の作成	家畜育種
肉用牛	R3-研-07	黒毛和種における分娩前後の栄養水準の違いが子宮環境回復、繁殖成績および子牛の発育に及ぼす影響(第2報)	家畜育種

分野	成果番号	成果名	担当研究室
草地・飼料 作物	R3-研-08	オーチャードグラス経年草地における刈取り管理が栄養収量に与える影響	家畜飼養・飼料
乳牛用	R3-研-09	乾乳期間の長短が乳牛の産乳・繁殖成績に及ぼす影響	家畜飼養・飼料
肉用牛	R3-研-10	種雄牛における乗駕行動時の加速度の特徴及び乗駕行動発見指標	外山畜産
肉用牛	R3-研-11	Bluetooth Low Energy(BLE)の受信信号強度を用いた日本短角種自然交配牛群における発情時期の推定	外山畜産

## 2 追跡評価

○令和3年度追跡評価の実施結果

### (1) 評価対象

平成30年度公表の普及区分5成果及び指導区分37成果

### (2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者
内部	共通	各部・所
外部	普及	生産者・JA、普及センター
	指導	普及センター

### (3) 評価結果

#### ア 内部評価

平成30年度に公表した42成果の評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H20～29 平均
普及	A	10	9	14	8	9	10	10	6	8	6	5	8.6
	B	5	2	1	1		2	1					2.0
	C	1		1			1						1.0
	D												
指導	A	47	31	33	26	21	35	32	18	36	41	37	32.5
	B	1	2	1	2		1	1	1				1.3
	C	3	2	1									2.0
	D												

A: 現在でも有効

B: 既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C: 後年度の成果に反映

D: 無効(Bに含まれないもの)□

#### イ 外部評価

##### (ア) 成果区分「普及」

###### a 生産者・JA評価

- ① 活用状況は、「現在も活用している」が100%
- ② 満足度は、「満足」が36.4%、「おおむね満足」が63.6%

###### b 普及センター評価

- ① 経営体での活用は、「よく活用されている・活用されている」が73.3%、「あまり活用されていない・活用されていない」が26.7%
- ② 活用されていない理由として、成果の対象である品種の作付が少ないとの回答があった。

##### (イ) 成果区分「指導」

###### a 普及センター評価

- ① 指導上の参考は、「大いに参考になった・参考になった」が87.3%、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が12.7%
- ② 指導効果は、「大いに得られた・得られた」が53.6%、「あまり得られなかった・得られなかった」が46.4%
- ③ 指導効果が得られなかった理由として、成果の内容が現地の実情に合わないため、活用場面がなかったとの回答が多かった。

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者・JA	69%	成果の活用	活用している	100%
				活用していない	0%
			成果の満足度	満足	36.4%
				概ね満足	63.6%
	普及セ	100%	経営体での活用	満足できない	0%
				よく活用されている	40.0%
活用されている	33.3%				
あまり活用されていない	13.3%				
指導	普及セ	100%	指導上の参考	活用されていない	13.3%
				大いに参考になった	32.7%
				参考になった	54.5%
				あまり参考にならなかった	12.7%
			指導効果	参考にならなかった	0%
				大いに得られた	20.9%
得られた	32.7%				
あまり得られなかった	31.8%				
得られなかった	14.5%				

### 3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

#### (1) 研究成果数

推進部会名	野菜花き	計
研究成果数	1	1

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
野菜花き	一重咲き鉢花向け赤紫色リンドウ新品種「Bzc-1 mut1(仮称)」の育成	研究	花き



## IV 試験研究成果の発表





## IV 試験研究成果の発表

### 1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
<b>企画管理部</b>			
経営 3-No.1	令和3年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R4.3	126
<b>生産基盤研究部</b>			
基盤 R3-No.2	令和元年度 生産基盤研究部 水田利用研究室 試験成績書	R3.4	154
基盤 R3-No.3	令和2年度 生産基盤研究部 水田利用研究室 試験成績書	R3.9	191
基盤 R3-No.1	令和元年度 試験研究成績書(生産システム研究室)	R3.4	170
基盤 R3-No.6	令和2年度 試験研究成績書(生産システム研究室)	R3.8	155
基盤 R3-No.4	平成27(2015)年度 水稻新品種育成試験成績書	R4.3	190
基盤 R3-No.5	平成25(2013)年度 水稻新品種育成試験成績書	R4.3	189
基盤 R3-No.7	平成24(2012)年度 水稻新品種育成試験成績書	R4.3	192
基盤 R3-No.8	平成28(2016)年度 水稻新品種育成試験成績書	R4.3	221
<b>園芸技術研究部</b>			
園芸 R3-No.1	令和2年度 果樹関係試験成績書(果樹研究室)	R4.3	131
園芸 R3-No.2	令和3年度 試験研究成績書(野菜研究室)	R4.3	300
	炭酸ガス局所施用システムの現地設置事例集(暫定版)	R3.3	20
園芸 R3-No.3	平成29年度 試験研究成績書(花き研究室)	R4.3	94
園芸 R3-No.4	平成30年度 試験研究成績書(花き研究室)	R4.3	74
園芸 R3-No.5	令和元年度 試験研究成績書(花き研究室)	R4.3	81
園芸 R3-No.6	令和2年度 試験研究成績書(花き研究室)	R4.3	100
園芸 R3-No.7	令和2年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R4.3	53
園芸 R3-No.8	令和3年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R4.3	42
<b>生産環境研究部</b>			
環境 R3 No.1	令和2年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	R3.3	290
<b>病虫害防除部</b>			
	令和3年度 植物防疫事業年報	R4.3	220
<b>畜産研究所</b>			
畜産 R3 No.1	令和3年度 試験成績書(畜産研究所)	R4.3	115
<b>県北農業研究所</b>			
	機械移植向け雑穀育苗マニュアル(作物研究室)	R4.3	30
県北 R3 No.1	令和2年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R4.3	152

## 2 研究レポート(令和3年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1039	育成期から肥育前期に飼料中の粗蛋白質濃度を高めた黒毛和種去勢牛の早期出荷技術	家畜育種
1040	1ha規模大区画における自己拡散型浮遊粒除草剤の畦畔1辺処理による省力効果	水田利用
1041	「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播栽培可能地域	生産システム
1042	傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術	生産システム
1043	ポット苗田植機に適した雑穀の育苗法	県北作物
1044	たまねぎ全自動移植機を用いた雑穀の機械移植技術	県北作物
1045	小麦栽培における緑肥作物の導入効果	土壌肥料
1046	大豆種子生産における耐性菌管理に有効な紫斑病防除体系	病理昆虫
1047	岩手県における「シャインマスカット」の成熟に要する積算温度	果樹
1048	令和3年4月の凍霜害におけるりんごの被害実態について	果樹
1049	りんご土着カブリダニ保護体系における摘果剤、有機リン剤の影響と主要害虫防除効果	病理昆虫
1050	水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目－確認・指導項目のチェックリスト－	農業経営
1051	大規模露地野菜作のスマート農業技術体系データ	農業経営
1052	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の日焼け球の発生	野菜
1053	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安	野菜
1054	キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性	県北園芸
1055	キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件	県北園芸
1056	ナス果実小陥没症の発生抑制対策	病理昆虫
1057	鉢花向け濃桃色りんどう品種「Bzc-1 mut1」の育成	花き
1058	青色鉢花りんどう「Bzc-1」の挿し穂冷蔵法	花き
1059	黒毛和種県有基幹牛「百合雲(ゆりぐも)」、「結乃宝(ゆいのたから)」、「暁雲(あきぐも)」の作出	種山畜産
1060	飼料用トウモロコシ極早生品種「P8025」「ベローナ」	家畜飼養・飼料
1061	飼料用トウモロコシ早生品種「34N84」、「P1204」	家畜飼養・飼料
1062	母系素材鶏を改良した南部かしわの発育モデル	家畜育種

### 3 学会等研究報告

#### (1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

##### 東北農業研究

○藤澤真澄・前山 薫・土田泰輔1 (1 八幡平普及セ) 露地野菜作経営におけるスマート農業技術の導入効果 東北農業研究 74:113-114
○田村和彦・多田周平1・松岡俊吾2・佐々木俊祐3・柄澤真梨歩3・小野寺健一 (1 農産園芸課・2 中部普及セ・3 大船渡普及セ) 水田雑草コウキヤガラの効果的な防除対策 東北農業研究 74:11-12
○大野 浩・高橋 藍・佐々木真人1・石川勝規 (1 一関普及セ) 光反射シート敷設による垣根仕立て醸造用ブドウの熟期前進効果 東北農業研究 74:59-60
○佐藤春菜・田代勇樹 小規模ハウスキュウリにおける二酸化炭素及びミスト施用効果 東北農業研究 74:83-84
○佐々木康仁・細川泰子 自然交配牛群におけるBluetooth Low Energyの受信信号強度を用いた発情時期の推定 東北農業研究 74:49-50
○高橋良乃・昆野 勝 玄米とくず大豆を給与した南部かしわの発育及び産肉成績 東北農業研究 74:51-52

##### Environment Control in Biology

○Daniel Z. K. WAMBRAUW 1,2・Taisuke KASHIWATANI 2・Maiko MATSUHASHI 2・Satomi YASUHARA 3・Satoshi OKU 3・Hanako SHIMURA 3・Kazushige HONDA 2・Tomoo MAEDA 2・Takayuki YAMAGUCHI 4 (1 The United Graduate School of Agricultural Science, Iwate University・2 Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University・3 Graduate School of Agriculture Hokkaido University・4 Iwate Agricultural Research Center) Expression Analysis of Flavonoid-related Genes in Green and White Asparagus Spears. Environment Control in Biology. Environment Control in Biology 2021. 59. 4. 190-191
--

##### 日本作物学会

○小館琢磨1,2・藤岡智明2・仲條真介2・太田裕貴3・岡留博司4・小出章二1,5 (1 岩手連大農学・2 岩手農研セ・3 県南局花巻農林セ・4 農研機構本部・5 岩手大農) 「窒素施肥条件の違いが低アミロース水稻品種「きらほ」の収量および米飯物性を含めた食味に与える影響」 日本作物学会紀事Vol.91(2),P136-146,2022年4月(査読付論文)
---

##### 日本食品保蔵科学会

○小館琢磨1,2・藤岡智明2・仲條真介2・岡留博司3・小出章二1,4 (1 岩手連大農学・2 岩手農研セ・3 農研機構本部・4 岩手大農) 「高タンパク低アミロース米“きらほ”の水浸裂傷粒発生率と吸水特性」 日本食品保蔵科学会誌Vol.47(4),P179-184,2021年8月31日(査読付論文)
---

##### 農作業研究

○大野 浩・佐々木真人1 (1 一関普及セ) リンゴJM台木利用苗における地下部への砂の局所施用による生育促進効果 農作業研究(Japanese Journal of Farm Work Research)56(4):263-268, 2021
---

## 日本土壌肥料学会誌

高橋良学1、島 輝夫2

(1 農業振興課・2 県南局遠野農林セ)

マイクロ波抽出と簡易キットによる土壌養分の簡易評価法

日本土壌肥料学雑誌第92巻第6号471-475

## 北日本病害虫研究会報

松橋伊織・佐々木裕二1・村上大樹1・岩館康哉

(1 奥州普及セ)

PMMoVL<sup>4</sup>打破系統(病原型P<sub>1,2,3,4</sub>)によるピーマンモザイク病に対する紙包み定植法および発病株抜き取りの併用による発病低減効果

北日本病害虫研究会報 72:61-66

松橋伊織・佐々木裕二1・村上大樹1・中村太紀2・岩館康哉

(1 奥州普及セ・2 中部普及セ(遠野))

転炉スラグを用いた土壌pH矯正による自根ピーマンにおける青枯病の被害軽減効果

北日本病害虫研究会報 72:67-72

岩館康哉・西村穂花・福田拓斗1・富永朋之2・森 万菜実3・藤崎恒喜4・三澤知央5

(1 岩手県病害虫防除所・2 宮古普及セ(岩泉)・3 北海道総研中央農試・4 岩手生工研セ・5 北海道総研法人本部)

岩手県内で発生したネギリゾクトニア葉鞘腐敗病とその病原菌

北日本病害虫研究会報 72:1-7

森 万菜実1・岩館康哉・藤崎恒喜2・三澤知央3

(1 北海道総研中央農試・2 岩手生工研セ・3 北海道総研法人本部)

*Rhizoctonia solani* AG-2-1 Subset2 およびAG-2-1-clade HK によるワサビ苗立枯病の発生

北日本病害虫研究会報 72:19-24

加藤真城

岩手県におけるリンゴ園の下草に生息するカブリダニ類

北日本病害虫研究会報 72:136-140

## 農村経済研究

○吉田徳子・安江紘幸1・朴 壽永2

(1 農研機構 東北農研セ・2 県立広島大学)

園芸作りに取り組む集落営農組織の特徴と今後の展開

農村経済研究39(2):10-19

## (2)学会発表(発表要旨)

### 農業情報学会2021年大会(2021.5.22~23 オンライン開催)

○森尾昭文1・佐藤正衛1・前山 薫

(1 農研機構)

多様な農作業日誌データに対応した集計システムの開発

農業情報学会2021年度年次大会講演要旨集:95-96

### 東北農業経済学会岩手大会(2021.9.4~5 岩手県立大学(オンライン開催))

○吉田徳子・前山 薫

大会シンポジウム報告(テーマ:スマート農業技術の導入等による東北水田農業経営のイノベーション)

岩手県沿岸被災地域の水田農業における技術導入と新たな展開

—震災後に設立された集落営農法人の取組から—

第57回東北農業経済学会岩手大会報告要旨集:43-54

日本食品保蔵科学会第70回大会(オンライン開催)

○小舘琢磨1,2・藤岡智明2・仲條眞介2・岡留博司3・小出章二1,4  
(1 岩手連大農・2 岩手農研セ・3 農研機構食品研究部門・4 岩手大農)  
「高タンパク低アミロース米“きらほ”の水浸裂傷粒発生率と吸水特性」  
日本食品保蔵科学会第70回大会要旨集,P18,2021年6月

日本食品科学工学会第68回大会(オンライン開催)

○小舘琢磨・藤岡智明・田中洋貴1・伊禮風沙1・安次富厚2・井上裕嗣2・熊谷悦史3・安江紘幸4・須田 明5・桂 順二5・丸山恭弘5  
(1 沖縄農研名護・2 沖縄農研石垣・3 農研機構農環研・4 農研機構東北農研セ・5 (株)エヌエスピー)  
「近赤外分光分析装置を利用した粳米および玄米から推定する食味関連成分の検討」  
日本食品科学工学会第68回大会講演集,P80,2021年8月

第79回農業食料工学会年次大会(オンライン開催)

○小舘琢磨1,2・藤岡智明2・仲條眞介3・岡留博司4・小出章二1,5  
(1 岩手連大農・2 岩手農研セ・3 岩手農大・4 農研機構食品研究部門・5 岩手大農)  
「低アミロース米“きらほ”の高タンパク化が吸水と水浸裂傷粒発生に与える影響」  
第79回農業食料工学会年次大会講演要旨集,P155,2021年9月

日本作物学会第252回講演会(オンライン開催)

○小舘琢磨1・田中洋貴2・伊禮風沙2・藤岡智明1・安江紘幸3  
(1 岩手農研セ・2 沖縄農研名護・3 農研機構東北農研セ)  
「低アミロース遺伝子“Wx-mq”保有品種の早晩性の違いが理化学性に与える影響」  
日本作物学会第252回講演会要旨集,P18,2021年9月

日本官能評価学会2021年大会(オンライン開催)

○小舘琢磨1・藤岡智明1・安江紘幸2・仲條眞介3  
(1 岩手農研セ・2 農研機構東北農研セ・3 岩手農大)  
「加工適性が向上した低アミロース米「岩手144号」の食味官能評価と米飯物性の特徴」  
日本官能評価学会2021年大会要旨集,P21,2021年11月

日本農芸化学会2022年度京都大会(オンライン開催)

○辻井良政1・菱川美千代1・小舘琢磨2  
(1 東京農大・2 岩手農研セ)  
「新規育成した超多収低アミロース米系統品種の米胚乳酵素活性量について」  
日本農芸化学会2022年大会要旨集,P389,2022年3月

日本作物学会第253回講演会(オンライン開催)

○藤岡智明1・高橋加菜子1・小舘琢磨1・阿部 陽2  
(1 岩手農研セ・2 岩手生工研セ)  
「ひとめぼれ」に様々な農業形質関連遺伝子領域を集積した系統の耐倒伏性関連形質の比較  
日本作物学会第253回講演会要旨集,P83,2022年3月

日本作物学会第253回講演会

○小舘琢磨1・藤岡智明1・田中洋貴2・伊禮風沙2・小松昌美1・高橋加菜子1・仲條眞介1,3  
(1 岩手農研セ・2 沖縄農研名護・3 岩手農大)  
「イネ個体当たりの穂数および粒重と低アミロース遺伝子“Wx-mq”との関係」  
日本作物学会第253回講演会要旨集,P86,2022年3月

園芸学会 令和4年度春季大会 (2022.3.17~18 オンライン開催. 21(別1): 2022.3月発行)

○横田 啓・佐々木達史 岩手県南部の秋まきタマネギ栽培に適する品種と定植時期(第1報) 2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別1): 261.
○佐々木達史・横田 啓 春まきタマネギ栽培における地干し期間が葉鞘水分率と腐敗に及ぼす影響(第2報) 2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別1): 262.
○小田島 裕・松橋伊織 夏秋雨よけハウレンソウにおけるミスト加湿の影響 2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別1): 238.

園芸学会東北支部 令和3年度大会 (2021.8.26~27 オンライン開催)

○小田島 雅・小澤 傑・中里 崇・内藤善美 極早生リンドウへの花芽分化前ジベレリン処理の開花調節効果 園芸学会東北支部令和3年度大会 研究発表要旨:P11.
--

園芸学会 令和4年度春季大会 (2022.3.20~21 オンライン開催)

○小澤 傑・内藤善美 鉢花向けリンドウ品種‘Bzc-1’における挿し穂冷蔵法の開発 2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別1): P175.
--

令和3年度 日本土壌肥料学会北海道大会 (2021.9.14~16 オンライン開催)

○高橋良学1・伊藤美穂 (1 農業振興課) 岩手県におけるかんがい水ケイ酸濃度の現状と変動要因 日本土壌肥料学会講演要旨集 第67集P95
--

令和3年度 日本土壌肥料学会東北支部大会 (2021.12.1 オンライン開催)

○白木正俊・小野寺真由・伊藤美穂 岩手県の小麦栽培における緑肥作物の効果 日本土壌肥料学会講演要旨集 第68集 (印刷中)
---

令和3年度(第57回)日本植物病理学会東北支部会 (2021.10.12~15 仙台市 オンライン開催)

○岩館康哉・菅 広和1・藤崎恒喜2 (1 岩手農研セ県北研・2 岩手生工研セ) <i>Rhizoctonia solani</i> AG-2-1 Subset1 によるホップ株腐病(新称) 日本植物病理学会報 88(1):64(講要)
--

第75回北日本病害虫研究発表会 (2022.2.17~18 山形市 オンライン開催、北日本病害虫研究会報.73:印刷中)

○西村穂花・岩館康哉 ダイズ紫斑病に対するマンゼブ水和剤の防除効果
○岩館康哉・西村穂花・砂子田慎一郎1 (1 八幡平普及セ(岩手町)) <i>Rizoctonia solani</i> AG2-1 (Subsets 13)、AG2-2 IVによるキャベツ苗立枯病(病原追加)
○羽田 厚 SSRマーカーによるリンゴ黒星病菌圃場分離集団の遺伝的分化の解析
○吉田雅紀・大友令史1・柄澤真梨歩1 (1 大船渡普及セ) 岩手県沿岸南部におけるクモヘリカメムシの発生状況
○加藤真城 リンゴ幼木におけるカブリダニ製剤の効果

2022年度日本草地学会岩手大会 (2022.3.25～27 オンライン開催)

○佐藤 真  
オーチャードグラス採草地の高温期を避けた刈取管理が栄養収量に及ぼす影響  
2022年度2022年日本草地学会岩手大会講演要旨集

○高村聡美  
岩手県における草地の放射性セシウム移行抑制対策  
2022年度2022年日本草地学会岩手大会講演要旨集

東北畜産学会 第70回福島大会 (2021.9.6 オンライン開催)

○信田千春1・安田潤平2・山形広輔2・鈴木啓一1・佐藤正寛1・蘆 尚建1・上本吉伸1  
(1 東北大院農・2 岩手農研セ畜研)  
日本短角種における飼料利用性に関する遺伝的パラメーターの推定  
東北畜産学会報 第70回大会号:14

日本作物学会東北支部会 第64回講演会 (2021.7.3 岩手大学農学部にて開催)

○大里達朗・佐藤拓也  
(岩手農研セ県北研)  
岩手県北地域の気温変化傾向と水稲直播栽培の適応性評価  
日本作物学会東北支部会第64回講演会講演要旨集:講演番号17.

スマート農業マッチングフォーラム2021 in 東北 (2021.10.28 オンライン開催)

○佐々木康仁  
BLE通信技術を用いた放牧牛群の簡易な個体確認システム

日本写真測量学会令和3年度秋季学術講演会 (2021.10.21～22 北海道帯広市・オンライン開催)

○小田川信哉1・古田尚輝1・山口貴之2  
(1 (一財) リモートセンシング技術センター・2 岩手農研セ)  
超小型衛星群によるスマート農業技術を用いたキャベツ結球直径の推定

## 4 雑誌等掲載

### (1) 専門雑誌等

#### 農業及び園芸(株式会社 養賢堂)

山口 貴之・元木 悟\*

「世界のアスパラガス生産の現状と展望[52]トルコ共和国におけるアスパラガス生産の現状と今後の方向性」

2021年12月号 第96巻第12号. 1093-1101

\* 明治大学

#### 最新農業技術(一般社団法人 農山漁村文化協会)

山口 貴之・元木 悟\*

アスパラガス・ブロッコリー・タマネギ・トウガラシの新技术(担当:伏せ込み促成栽培)

野菜vol.14 2021年10月号特集

\* 明治大学

#### 現代農業(一般社団法人 農山漁村文化協会)

横田 啓

「春播きタマネギの腐敗病 ネギアザミウマ防除で防げた！」

2021年6月号

佐藤 春菜

「キュウリの小規模パイプハウスで環境制御機器を導入」

2022年1月号

#### 農業技術体系(一般社団法人 農山漁村文化協会)

横田 啓

タマネギ 基礎編 個別技術の課題と検討「ネギアザミウマ防除によるりん茎の腐敗抑制と収量増加」

2021.野菜編 第8-②巻

#### 果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

加藤 真城

「岩手県リンゴ園における土着カブリダニを活用したハダニ類防除対策」

第76巻(2021年)9月号

#### 月刊「植物防疫」(一般社団法人 日本植物防疫協会)

岩館 康哉

日植防シンポジウムから「岩手県における発生予察・病虫害診断・防除指導の現状と将来」

2021年12月号 (第75巻第12号)

#### 畜産技術(畜産技術協会)

佐々木 康仁

BLE通信技術を用いた放牧牛群の簡易な個体確認システム

2022年2月号

### (2) 岩手の畜産(令和3年5月号～令和4年3月号)

5月号	佐藤 真	オーチャードグラス経年採草地におけるフェストロリウム追播技術
7月号	藤村 和哉	県有種雄牛「山根雲」、「菊福秀」の後継牛として「百合雲」、「暁雲」、「結乃宝」が新たにデビュー
9月号	高橋 良乃	玄米およびびくず大豆を活用した南部かしわ雌の飼料給与技術
11月号	高村 聡美	除染草地における2回目の簡易更新時のカリ施肥による放射性セシウム低減対策技術
1月号	山形 広輔	日本短角種における牛肉中のイノシン酸濃度に関連する遺伝子型の割合と遺伝的パラメータの推定
3月号	尾張 利行	ICT機器を活用して日本短角種の交配日を推定する試験の紹介



### (3) その他の雑誌等

#### JATAFFジャーナル

岩舘 康哉

【フロント】ナスのボツボツ

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会, 9巻8号

#### 作物生産と土づくり

伊藤 美穂

復旧農地の水稻栽培における可変追肥の取り組み

一般財団法人 日本土壌協会 2021・22年12・1月号 P5～8

白木 正俊

岩手県の大豆栽培で導入可能な緑肥作物の選定と大豆の収量に与える効果

一般財団法人 日本土壌協会 2022年4・5月号 (印刷中)

#### 技術と普及

桐山 直盛

マイクロ波抽出と簡易検出キットによる土壌養分の簡易評価手法

一般社団法人 全国農業改良普及支援協会 (印刷中)

#### 肉牛ジャーナル

種山畜産研究室

種雄牛広告(「結乃宝」「百合雲」「暁雲」)

令和3年5月号

種雄牛広告(「百合雲」)

令和3年10月号

#### 養牛の友

種山畜産研究室

種雄牛広告(「結乃宝」「百合雲」「暁雲」)

令和3年5月号

種雄牛広告(「結乃宝」)

令和3年11月号

### (4) ホームページ等Web掲載

#### 農林水産省ホームページ「最新農業技術・品種2021」

土壌肥料研究室

「マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌養分の簡易評価手法」

R3.6 [https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new\\_tech\\_cultivar/2021/2021seika-24.html](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2021/2021seika-24.html)

#### 農林水産省ホームページ「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(Ver1.0)」

土壌肥料研究室

「マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌養分の簡易評価手法」

R4.1 <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

## 5 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>企画管理部</b>			
<b>農業経営研究室</b>			
	集落営農 園芸導入の鍵は 適正規模や専任担当 岩手県農研	日本農業新聞(全国版)	R4.1.5
<b>総務課</b>			
	マナー順守133人署名誓う 県農研センター誓約書提出	岩手日日新聞	R3.6.17
<b>農業科学博物館</b>			
	地域馬事文化に光 農業科学博物館企画展 明治一昭和初期 道具 縁起物公開	岩手日日新聞	R3.6.6
	何が実るかな? 写真で野菜・果物クイズ	岩手日報	R3.6.29
	銀河のしずく宇宙から帰還 東北復興支援感謝事業 県産米PR活用へ	岩手日報	R3.10.29
<b>生産基盤研究部</b>			
<b>生産システム研究室</b>			
	鳥害にドローン有効	日本農業新聞	R3.7.9
	鳥追い払いにドローン	全国農業新聞	R3.10.22
<b>作物育種研究室</b>			
	「新・金色の風」開発へ	河北新報	R3.12.18
<b>園芸技術研究部</b>			
<b>果樹研究室</b>			
	暑さに強いリンゴ、ブリを使った新商品…環境変化に適応目指す	読売新聞	R3.11.29
<b>野菜研究室</b>			
	春まきタマネギ技術を確立	全国農業新聞	R3.9.24
	技術で園芸経営支援	岩手日日	R3.11.11
	光合成 小型装置で楽々	岩手日報	R3.11.12
	炭酸ガス装置 小型化	日本農業新聞	R3.12.22
<b>花き研究室</b>			
	花のオリジナルブランドカタログ(八重咲きりんどう:aff(あふ))6月号特集)	農水省HP	R3.6.9
	いわてフラワーコン 入賞30点決まる	岩手日日	R3.9.4
<b>生産環境研究部</b>			
<b>土壌肥料研究室</b>			
	資材高騰どうしのぐ【上】肥料 まずは土壌診断 適正施用 堆肥拡大も	日本農業新聞	R4.2.16
<b>病理昆虫研究室</b>			
	ナス果実小陥没症 発生原因は”カビ” 県農業研究センターが解明 薬剤適時散布し防除を	岩手日日新聞	R3.8.12
	リンゴ畑 下草残し害虫防除 天敵を保護発生抑制実証 県農業研究センター 減農薬安定生産に期待	岩手日日新聞	R3.8.27
	ナス小陥没症原因解明 北上・県農業研究センター 葉にできるカビで発生 薬剤散布が抑制に効果	岩手日報	R3.8.29
	ナス小陥没症の発生原因を解明した 県農業研究センター主査専門研究員 岩館康哉さん	岩手日報	R3.9.16
	ナス小陥没症を解明 薬剤でカビ発生抑えて 岩手県農業研究センター	日本農業新聞	R3.10.1

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>病害虫防除部</b>			
<b>病害虫防除課</b>			
	リンゴ黒星病で注意報 岩手県 適期防除呼び掛け	日本農業新聞	R3.4.7
	リンゴ「黒星病」予防を呼び掛け 県が注意報	岩手日報	R3.4.7
	サツマイモ基腐病 岩手で初確認	日本農業新聞	R3.7.23
	カメムシ類多発 防除を呼び掛け	岩手日報	R3.7.28
	カメムシ 防除徹底を	岩手日日新聞	R3.7.28
	リンゴ園でハダニ多発 斑点米カメムシも	日本農業新聞	R3.8.8
	いもち なお警戒 注意報5年で最多 産地は防除徹底	日本農業新聞	R3.8.12
	水稻育苗箱施用剤の効果的な使い方 地域の一斉防除で効果より高く	日本農業新聞	R4.2.3
<b>畜産研究所</b>			
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>			
	畜産振興女性が一翼～滝沢・県農業研究センターが初採用	岩手日報	R3.4.16
<b>外山畜産研究室</b>			
	無線通信で放牧牛管理	岩手日報	R3.5.24
	アプリで牛群管理～首にタグ 看視を省力	日本農業新聞	R3.6.15
	放牧牛管理に通信技術 全国初、阿原山で導入	胆江日日新聞	R3.5.30
<b>種山畜産研究室</b>			
	県有種雄牛・菊福秀の軌跡(上・下)	胆江日日新聞	R3.5.9～10
	種雄牛PRへ「営業部」	岩手日報	R3.8.4
	本県種雄牛 エースに2頭	岩手日報	R3.8.29
<b>県北農業研究所</b>			
<b>園芸研究室</b>			
	スマート農業じわり拡大 震災後の経営集約で弾み	朝日新聞(地方版)	R3.6.20
	環境制御ハウス普及に力 木質チップボイラー 小型炭酸ガス発生機 暖房費減、収量増へ実証	岩手日報	R3.6.22
	県北で農作物収量増を 岩手県、スマート農業実証実験 軽米の研究所に施設設置 ICT活用 キュウリ栽培	デーリー東北	R3.6.22
	環境制御ハウス開設 岩手県 県北のキュウリで実証	日本農業新聞(地方版)	R3.6.26
<b>作物研究室</b>			
	耕作放棄地再生、中山間地活性化へ 期待高まる薬用作物～機械除草で負担軽減～	全国農業新聞(全国版)	R4.3.4

## 6 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
生産基盤研究部 作物育種研究室	マイタウンきたかみ 米の食味試験について	北上ケーブルテレビ	R4.1.31他	無
生産環境研究部 病理昆虫研究室	世界初！ナス果実小陥没症の原因解明	北上ケーブルテレビ	R3.8.17	有
県北農業研究所	ニュース 環境制御ハウス開所式	かるまいテレビ	R3.6.16	有

### (2) ラジオ

(放送なし)

## 7 指導資料等掲載

部所・研究室名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	生産技術体系	令和4年度野菜栽培技術指針	R4.3
生産基盤研究部 水田利用研究室	雑草防除(水稲)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	雑草防除(畑作物)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	「岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術マニュアル」	「岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術マニュアル」	R4.3
生産システム研究室	岩手県における高密度播種苗移植栽培法(研究成果関連マニュアル)	研究成果関連マニュアル「岩手県における高密度播種苗移植栽培法」	R3.8
	傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術(研究成果関連マニュアル)	研究成果関連マニュアル(傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術)	R4.3
	低コストRTK-GNSSデータロガーの特徴(研究成果関連マニュアル)	研究成果関連マニュアル(低コストRTK-GNSSデータロガーの特徴)	R4.3
園芸技術研究部 果樹研究室	雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針(果樹)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
野菜研究室	雑草防除及び成長調整剤使用指針(野菜)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	炭酸ガス局所施用システムの現地設置事例集(暫定版)	炭酸ガス局所施用システムの現地設置事例集(暫定版)	R4.3
	令和4年度 野菜栽培技術指針	令和4年度 野菜栽培技術指針	R4.3
花き研究室	雑草防除及び成長調整剤使用指針(花き)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
南部園芸研究室	令和4年度野菜栽培技術指針	令和4年度野菜栽培技術指針	R4.3
生産環境研究部 土壌肥料研究室	いわてアグリフロンティアスクール講義資料「土壌管理(土壌・肥料)」	植物の栄養と土、岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術	R3.6.9
病理昆虫研究室	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	防除指導資料(水稲・畑作物害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	防除指導資料(畑作、土壌病害)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	防除指導資料(野菜害虫)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3
	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和4年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R4.3

部所・研究室名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室 (続き)	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和4年度岩手県農作物害虫・雑草防除指針	R4.3
	近年問題となっている病虫害(病害)	令和4年度野菜栽培技術指針	R4.3
	近年問題となっている病虫害(害虫)	令和4年度野菜栽培技術指針	R4.3
病虫害防除部 病虫害防除課	農薬安全使用指針	令和4年度岩手県農作物害虫・雑草防除指針	R4.3
畜産研究所			
家畜育種研究室	南部かしわへの玄米とくず大豆の給与マニュアル	南部かしわへの玄米とくず大豆の給与マニュアル	R4.3
家畜飼養・飼料研究室	防除指導資料(牧草・飼料作物)	令和4年度岩手県農作物害虫・雑草防除指針	R4.3
	(改訂版)草地における放射性物質対策のためのカリ施肥	農林水産省委託プロジェクト研究「営農再開のための放射性物質対策技術の開発」、「原発事故からの復興のための放射性物質対策に関する実証研究」成果技術マニュアル	R3.3
外山畜産研究室	黒毛和種育成牛へのTMR給与技術マニュアル	黒毛和種育成牛へのTMR給与技術マニュアル	R3.8
県北農業研究所 作物研究室	雑穀の機械移植向け育苗マニュアル	「機械移植に適した雑穀育苗技術の確立」	R4.3

## 8 ホームページ

### (1) 記事入力件数

項目	入力件数	内 訳
研究レポート	24	令和3年度発行分(No.1039～1062)
試験研究成果	26	令和3年度試験研究成果書 肥料コスト低減技術に係る成果集
らぼ・れたあ	46	No. 1～46(研究室だより)
行事予定	4	一般公開デー、研究成果発表会、東北農業経済学会・岩手大会
各種資料	16	令和2年度業務年報、各種成果マニュアル、機関評価結果
農業科学博物館	4	企画展第86～87回開催案内、農業ふれあい公園だより 第29号
その他	4	令和3年度組織体制、プレスリリース

### (2) アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
トップページ	2,457	1,995	2,588	2,610	2,111	2,136	2,315	2,259	1,867	2,020	1,392	1,793	25,543
総ページビュー	12,592	13,318	17,273	16,374	24,640	25,440	17,318	16,753	13,305	15,581	12,453	13,037	198,084

## 9 SNS(Twitter、Facebook)

### (1) Twitter

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ツイート数	21	35	53	26	43	42	30	21	18	21	7	30	347
フォロワー純増数	10	24	13	23	11	18	21	-5	4	15	4	-3	135
ツイートインプレッション	15,693	22,632	40,850	22,029	23,541	38,401	30,499	17,075	9,317	11,186	5,930	15,263	252,416
エンゲージメント数	741	984	1,616	803	869	1,175	2,328	588	315	348	149	467	10,383

### (2) Facebook

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
投稿記事数	13	23	33	18	20	19	18	13	15	9	5	16	202
新規フォロワー数	14	4	1	2	3	6	3	1	2	3	1	7	47
リーチ	2,113	3,158	5,585	4,933	4,112	3,468	3,799	3,174	2,329	1,790	963	2,600	38,024
いいね！及びリアクション	99	169	282	285	187	176	209	158	142	102	53	91	1,953

## 10 研究室だより

### (1) らぼ・れたあ

発行日	標題	部所名
R3.4.13	ものづくりのプロの手で復活！～ 発生予察調査の必需品「乾式予察灯」	病虫害防除部 病虫害防除課
R3.4.20	カンタン管理で収量アップ～ピーマンの環境制御技術の開発	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.5.6	試験に向けて定植完了！～ドローンを活用したたまねぎの病虫害防除試験	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.5.6	県有種雄牛のPR強化を！～種山畜産研究室に「たねやま営業部」を設置	畜産研究所 種山畜産研究室
R3.5.11	寒さ乗り越え実り続々～「北いわて環境制御ハウス」のきゅうり収穫始まる	県北農業研究所 園芸研究室
R3.5.13	スマート農業技術の導入実証！～自動運転で楽々「鉄コーティング直播」	生産基盤研究部 生産システム研究室
R3.5.13	小さな区画に多くの力が集結！～水稲除草剤試験の試験区を設置しました	生産基盤研究部 水田利用研究室
R3.5.19	目指せ、豊作！ただ今、雑穀の育苗中	県北農業研究所 作物研究室
R3.5.21	道路も水路もスッキリ！～環境美化活動の草刈りを行いました	企画管理部 総務課
R3.6.3	黒豚も超音波で診断～県内生産者の黒豚肉量調査	畜産研究所 家畜育種研究室
R3.6.8	「日本短角種種雄牛ドラフト会議」開催！	畜産研究所 家畜育種研究室
R3.6.14	基幹種雄牛に新たに3頭を選抜！！～「百合雲」「暁雲」「結乃宝」	畜産研究所 種山畜産研究室
R3.6.15	長期安定出荷を目指して～夏秋いちごの収穫が始まりました	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R3.6.15	すぐ使える！研究成果が盛りだくさん～「研究成果発表会」を開催	企画管理部 研究企画室
R3.6.16	普及とタッグで実証スタート！～黒毛和種育成牛のTMR給与実証に向けて	畜産研究所 外山畜産研究室
R3.6.18	スマート農業への期待を背負い～環境制御ハウスの開所式を行いました	県北農業研究所 園芸研究室
R3.6.18	ようこそ！未来の畜産を担う若者たち～農業大学校生の校外研修を行いました	畜産研究所 家畜育種研究室
R3.6.22	雑穀研究を支える「三本の矢」～最先端の技術、肉体労働、そして研究者同士の連携	県北農業研究所 作物研究室
R3.6.23	カメムシ防除の基本を再確認！～病虫害防除指導者研修会を開催	病虫害防除部 病虫害防除課
R3.6.25	ドローン画像から放牧地の植生変化を把握する手法を検討中です	畜産研究所 外山畜産研究室
R3.7.20	日本短角種の種雄牛候補の予備選抜が始まりました	畜産研究所 家畜育種研究室
R3.7.28	真夏の草刈りは暑さとの戦いです～環境美化活動の草刈りを行いました	企画管理部 総務課
R3.8.17	専門的知識・技能を広く体得！～若手普及員の専門技術基本研修を行いました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R3.8.23	現場後代検定候補牛3頭を選抜！！～「花金福」「隆照」「菊福茂」	畜産研究所 種山畜産研究室
R3.8.27	岩手日日新聞に「ナス果実小陥没症の原因解明」に関する記事が掲載されました	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R3.8.31	岩手日日新聞に「リンゴ畑 下草残し害虫防除」の記事が掲載されました	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R3.8.31	適期ギリギリ、スイスイ散布～ダイズ紫斑病の無人ヘリ防除試験	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R3.9.6	岩手日報に「ナス小陥没症 原因解明」に関する記事が掲載されました	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R3.9.9	「スマ農」は水田農業経営にイノベーションを起こせるか！？～東北農業経済学会・岩手大会をオンライン開催	企画管理部 農業経営研究室
R3.10.1	恒例の「土壌調査」ははじめました～！	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R3.10.5	将来の農業の担い手が県北農業研究所で研究業務を体験	県北農業研究所
R3.10.6	令和3年度第1回 岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R3.10.7	新たななるアブ除け効果！～外山畜産研究室に「シマウシ」登場	畜産研究所 外山畜産研究室
R3.10.20	畜産の未来を担う後継者育成に向けて～農業大学校の学生研修を受け入れました	畜産研究所 外山畜産研究室
R3.10.26	新品種＋コンバイン収穫であわ栽培をバージョンアップ！	県北農業研究所 作物研究室
R3.11.4	水田の自動水管理システム利活用について講演～全国農業システム化研究会・オンライン研修会	生産基盤研究部 水田利用研究室
R3.11.10	県有種雄牛の産肉能力育種価が更新されました！	畜産研究所 種山畜産研究室



発行日	標題	部所名
R3.11.15	家畜への感謝と慰霊、そして職員の安全祈願を～畜産研究所で「畜霊祭」を開催	畜産研究所 総務課
R3.11.29	AI機械学習で将来予測！～依頼研究員として農研機構で研修中です	企画管理部 農業経営研究室
R3.12.3	醸造用ぶどうを核とした産学官連携に向けて	園芸技術研究部 果樹研究室
R3.12.10	JAIわて平泉なす生産部会長から岩館主査専研に感謝状贈呈！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R3.12.17	岩手と沖縄との「かけはし」でニーズに応えるチルド米飯用の品種育成を加速！	生産基盤研究部 作物育種研究室
R4.1.7	いちごの促成栽培用品種「恋みのり」の収穫が始まっています	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R4.3.8	令和3年度第2回 岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R4.3.8	新進研究員が「北日本病害虫研究会」研究発表会でデビュー！	生産環境研究部 病理昆虫研究室

(計46件)

## (2) ふおとらぼ

発行日	標題(内容)	部所名
R3.4.5	農業研究センター人事異動	企画管理部 総務課
R3.4.15	業務の心得を先輩から学ぶ～農研本部新任者オリエンテーションを開催	企画管理部 研究企画室
R3.5.6	花巻農業高校芸術部写真班作品展を開催！	企画管理部 総務課
R3.5.13	(新採用職員合同研修を開催)	企画管理部 総務課
R3.5.14	(たまねぎ施肥試験&小麦緑肥導入試験紹介)	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R3.5.25	(19年ぶりに技能員が新規採用)	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.5.27	(水稻奨励品種決定調査は場田植え)	県北農業研究所 作物研究室
R3.6.3	田植え作業を協力して実施！(所内一斉田植え)	生産基盤研究部 作物育種研究室
R3.6.7	棚田の田植えを実施しました	生産基盤研究部 水田利用研究室
R3.6.10	(りんどう苗の定植の真っ最中)	園芸技術研究部 花き研究室
R3.6.14	(農業普及員の研修受け入れ)	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.6.17	(農業科学博物館「はかせの部屋」リニューアル)	企画管理部 総務課
R3.6.18	北上警察署に交通安全誓約書を提出	企画管理部 総務課
R3.6.22	自動操舵トラクタの試験が本格始動	県北農業研究所 作物研究室
R3.6.22	水稻なのに畑で種まき(葉いもち圃場抵抗性試験)	生産基盤研究部 作物育種研究室
R3.6.30	シカ対策のネットを設置しました	生産基盤研究部 水田利用研究室
R3.6.30	小麦の収穫作業が始まりました	生産基盤研究部 水田利用研究室
R3.7.5	即戦カルーキー現る！	園芸技術研究部 果樹研究室
R3.7.21	猛暑にも負けず熱意あふれるゼミナール	園芸技術研究部 果樹研究室
R3.7.21	水稻なのに畑で試験～葉いもち圃場抵抗性試験・その2	生産基盤研究部 作物育種研究室
R3.7.28	一般公開デーを開催します！	企画管理部 研究企画室
R3.8.5	交配は今も昔も研究員がコツコツと……稲の人工交配	生産基盤研究部 作物育種研究室
R3.8.5	(水稻原原種・原種ほ場の「雑穂抜き」)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R3.8.6	おカイコさんがやってきました！	企画管理部 総務課
R3.8.17	猛暑と闘いながらミスト制御装置を設置しました	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.8.19	あわの畑に集まるチョウ	県北農業研究所 作物研究室
R3.9.1	続・おカイコさんがやって来ました！	企画管理部 総務課
R3.9.10	どれが最優秀賞？素晴らしい出来映えに感動！	園芸技術研究部 花き研究室
R3.9.14	農業研究センターの昆虫たち	病害虫防除部 病害虫防除課
R3.9.14	(食味・収量センサ付き自脱型コンバインによる水稻「かけはし」の刈取作業)	県北農業研究所 作物研究室

発行日	標題	部所名
R3.9.16	農業科学博物館は休館中も頑張ってます！	企画管理部 総務課
R3.9.27	(農業科学博物館の公開を再開)	企画管理部 総務課
R3.9.30	圃場を見て、互いの研究を知る！第2回園芸技術研究部ゼミナール	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.10.5	環境制御ハウスで野菜栽培試験の取組を視察	県北農業研究所 園芸研究室
R3.10.6	自動運転のコンバイン実証	生産基盤研究部 生産システム研究室
R3.10.6	水稻原原種の乾燥風景	生産基盤研究部 生産システム研究室
R3.10.21	ブロッコリーの試験内容を紹介しました	園芸技術研究部 野菜研究室
R3.10.25	(会議のペーパーレス化を実践中)	企画管理部 総務課
R3.11.8	お昼です。お米の食味試験やっています	生産基盤研究部 作物育種研究室
R3.11.8	一鉢の花	企画管理部 総務課
R3.11.8	宇宙を旅した「銀河のしずく」	企画管理部 総務課
R3.12.1	クリスマス装飾しました！	企画管理部 総務課
R3.12.10	花巻農協鉢花生産部会鉢花りんどう実績検討会で県育成品種をPRしました	園芸技術研究部 花き研究室
R3.12.28	県北農業研究所に“あわ餅研究室”設置!?	県北農業研究所 作物研究室
R4.1.14	今年も良いワインになることを願って！吹雪の中でのせん定指導会	園芸技術研究部 果樹研究室
R4.1.24	農業科学博物館のトイレが洋式になりました！	企画管理部 総務課
R4.1.27	暖かな温室では稲の人工交配を行っています・・・真冬の人工交配	生産基盤研究部 作物育種研究室
R4.2.10	「たまねぎ」の「たねまき」が始まりました	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.2.16	ピーマンの育苗が始まりました	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.3.8	今年度のお米の食味試験が終了しました	生産基盤研究部 作物育種研究室
R4.3.8	2月に引越しました！	企画管理部 農業経営研究室
R4.3.28	(ただ今りんどうを育苗中)	園芸技術研究部 花き研究室

(計52件)

## V 指導・啓発活動



## V 指導・啓発活動

### 1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農産園芸課主催				
企画管理部 農業経営研究室 生産県北農業研究所 作物研究室	R3.12.22	滝沢市 (畜産研究所)	稲作コスト低減指導担当者研修会 ・生産費の把握に基づくコスト・経営改善 ・農業機械の適正導入と効率利用	25名
企画管理部 農業経営研究室	Web上での資料配布	-	水田への土地利用型野菜導入に係る研修会 ・集落営農組織における園芸作導入・定着のポイント	-
農業普及技術課主催				
企画管理部 農業経営研究室 生産県北農業研究所 作物研究室	R4.2.14	オンライン	いわてスマート農業推進研究会オンラインセミナー 生産性向上のための生産管理システム活用セミナー ・生産管理支援システムの導入・活用のポイント	77名
園芸技術研究部 野菜研究室	R3.11.9	北上市 (農業研究センター)	令和3年度第2回環境制御技術セミナー	102名
県北農業研究所 園芸研究室	R3.6.22	軽米町 (県北農業研究所)	低圧ミスト設置研修会 ※普及指導員調査研究活動「ほうれんそうのミスト加湿による生育促進効果及び増収効果の確認」	8名
県産米戦略室主催				
生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室	R3.7.5	北上市 (農業研究センター)	令和3年度第1回稲作技術対策会議 ・水稲の生育状況と追肥対応	127名
生産環境研究部 土壌肥料研究室	R3.12.9		令和3年度第2回稲作技術対策会議 ・水稲の作柄要因解析	93名
県北農業研究所 作物研究室	R4.2.18		令和3年度第3回稲作技術対策会議	30名
盛岡広域振興局農政部主催				
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室	R3.6.22	北上市 (農業研究センター)	盛岡地域環境制御技術研究会第1回研修会 ・雇用型園芸経営における工程管理の取組事例紹介と実施上のポイント ・岩手県農業研究センターにおける施設園芸(トマト、きゅうり)複合環境制御技術の研究成果について	15名
【新技術・普及活動検討会】(農業普及技術課主催) ※新型コロナのため中止				
【普及指導員専門技術研修】(農業普及技術課主催)				
企画管理部 農業経営研究室	R3.5.27	北上市 (農業研究センター)	普及指導手法高度化研修(Ⅰ期) ・県内集落営農組織における法人化の現状と課題 -集落営農組織へのアンケート結果から-	4名
	R3.11.5	北上市 (農業研究センター)	スマート農業実践研修 ・生産管理システムの導入・活用	9名
	R4.2.21	オンライン	スペシャリスト養成研修(雇用型野菜経営体支援) ・雇用型施設野菜経営体の工程管理のポイント ・集落営農組織における野菜作導入・管理のポイント	13名
	R4.3.23	オンライン	スペシャリスト養成研修(土地利用型野菜)Ⅲ期 ・水田作における野菜栽培の重要管理項目について	2名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>生産基盤研究部</b>				
水田利用研究室	R4.6.16 R4.10.11	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) 普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	4名
生産システム研究室	R3.6.16～18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	4名
	R3.10.12～13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	4名
	R3.10.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	4名
	R3.10.29	北上市 (農業研究センター)	スマート農業実践研修(ドローン利用)	8名
作物育種研究室	R3.10.12～13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	4名
	R3.11.16～17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	4名
<b>園芸技術研究部</b>				
果樹研究室	R3.5.18～21 R3.6.22～25 R3.10.12～15 R3.12.14～17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	2名
	R3.6.18 R3.12.16 R4.2.9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	2名
	R3.6.24 R4.2.16	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	2名
野菜研究室	R3.5.17	北上市 (農業研究センター) 花巻市 (現地圃場)	スペシャリスト養成研修(土地利用型野菜) 第Ⅰ期	2名
	R3.12.20	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術、第4回)	11名
	R3.11.5	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(養液栽培技術)	4名
	R3.6.9～10	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅰ期)	5名
	R4.7.29～30	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	5名
	R3.10.13	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	5名
	R3.11.17	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅳ期)	5名
花き研究室	R3.7.14	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(花き)	1名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
南部園芸研究室	R3.6.22	陸前高田市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・いちごⅠ期)	6名
	R3.10.18	陸前高田市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・いちごⅡ期)	6名
	R3.11.16	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜 第Ⅳ期)	5名
<b>生産環境研究部</b>				
土壌肥料研究室	R3.6.11 R3.10.12	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ)	5名
病理昆虫研究室	R3.6.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	5名
	R3.10.15	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	5名
	R3.10.12	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅳ期) スペシャリスト養成研修(果樹 土壌・病害虫)	5名
<b>病害虫防除部</b>				
病害虫防除課	R3.6.10	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ期)	5名
	R3.6.21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(畑作)	6名
	R3.6.23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基礎研修(果樹Ⅱ期)	3名
	R3.10.12	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(果樹)及び専門技術基本研修(果樹Ⅳ期)	2名
	R3.11.24	北上市・オンライン (農業研究センター)	普及職員新任者研修Ⅰ及び普及活動基本研修Ⅰ	15名
<b>畜産研究所</b>				
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	R3.7.26～30	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ期)	2名
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.9.28～30	滝沢市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	2名
家畜飼養・飼料研究室	R3.11.9	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(酪農)	4名
<b>県北農業研究所</b>				
園芸研究室	R3.9.22	軽米町 (県北農業研究所)	スペシャリスト養成研修(土地利用型野菜、第Ⅱ期)	2名
	R3.10.12	軽米町(県北農業研究所) 二戸市(現地実証ほ)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術、第3回)	11名
	R3.10.14	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	5名

【岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会】(農業普及技術課主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
園芸技術研究部 野菜研究室	R3.7.21	紫波町	技術対策部会 春まきタマネギ現地検討会	70名

【病害虫防除に関する研修】(岩手県病害虫防除所主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
生産環境研究部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	R3.6.11	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除指導者研修会 (対象:病害虫防除指導に係る関係機関・団体)	79名
病害虫防除部 病害虫防除課	R3.12.14	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除実績検討会【果樹部会】 (対象:同上)	47名
病害虫防除課	R3.12.15	北上市、軽米町 (農業研究センター、 県北研オンライン)	病害虫防除実績検討会【農産部会】 (対象:同上)	83名
病害虫防除課	R3.12.17	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	40名
病害虫防除課	R3.12.22	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	34名



## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>企画管理部</b>				
<b>農業経営研究室</b>				
	令和3年度土地改良事業営農推進対策委員会・幹事会合同現地検討会	R3.8.31	農村計画課	盛岡市
	令和3年度土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	書面開催	農村計画課	-
	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第11回)	R3.7.8	農業普及技術課	盛岡市
	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第12回)	書面開催	農業普及技術課	-
	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第13回)	R3.12.15	農業普及技術課	盛岡市
	第52回特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委員会	R4.1.6	農産園芸課	盛岡市
	第52回特産農作物生産振興共進会(葉たばこ部門)審査委員会	R4.3.28	農産園芸課	オンライン
	令和3年度岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	R3.10.28	農村計画課	盛岡市
	ほ場整備地区における営農ビジョンの実現に向けた発表会	R3.12.16	農村計画課	盛岡市
	令和3年度第1回いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	R3.4.22	農業振興課	盛岡市
	令和3年度第2回いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	書面開催	農業振興課	-
	令和3年度第3回いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	書面開催	農業振興課	-
	令和3年度陸前高田市大規模園芸施設運営協議会第1回ワーキンググループ会議	R3.11.8	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
<b>生産基盤研究部</b>				
<b>水田利用研究室</b>				
	経営体育成基盤整備事業砂子地区自動給水機説明会	R3.11.9	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	北上市(農研センター)
	令和3年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	R4.1.18 R4.1.25	農業普及技術課	北上市(農業研究センター) 滝沢市(産業文化センター)
<b>生産システム研究室</b>				
	いわて新農業人チャレンジファーム研修	R3.10.8	岩手県農業公社	北上市(農研センター)
	令和3年度農業公社職員全体研修会(スマート農業)	R4.1.4	岩手県農業公社	北上市(農研センター)
	富山県地域実践リーダー育成研修会	R4.1.27	富山県農林水産部	富山県(富山県民会館)
<b>作物育種研究室</b>				
	農業大学校講師(研究現場の育種)	R3.10.4	農業大学校	金ヶ崎町(農業大学校)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>園芸技術研究部</b>				
<b>果樹研究室</b>				
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R3.10.12	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	醸造用ぶどう栽培技術フォローアップ講座	R3.5.20 R3.6.17 R3.7.8 R3.8.5 R3.10.7	農産園芸課	北上市 (農研センター)
	日本ソムリエ協会岩手県支部研修会 講師対応 「岩手県における醸造ぶどう栽培について」	R3.11.18	日本ソムリエ協会岩手県支部	盛岡市
<b>野菜研究室</b>				
	東北地域タマネギ栽培セミナー	R4.2.15	農研機構 東北農業研究センター	オンライン
	JA園芸産地改革ネットワーク会議(きゅうり部会) 「フケ果対策について」	R3.11.1	JA全農いわて	矢巾町
	JA園芸産地改革ネットワーク会議(ピーマン部会) 「尻腐れ対策試験について」	R3.11.19	JA全農いわて	矢巾町
	令和3年度第1回ブロッコリー担当者会議	R3.6.23	JA全農いわて	矢巾町
	令和3年度第2回ブロッコリー担当者会議	R4.2.14	JA全農いわて	オンライン
	令和3年度秋冬ブロッコリー研修会	R3.10.19	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	いわてスマート農業推進シンポジウム	R3.8.27	農業普及技術課	滝沢市 (産業文化センター)
	東北ハイテク研究会セミナー	R3.9.9	東北ハイテク研究会	オンライン
<b>花き研究室</b>				
	りんどう育苗状況調査	R3.4.7 R3.4.13 R3.4.14	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	一戸町、九戸村ほか
	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう検討会	R3.7.9	農業普及技術課	奥州市衣川
	岩手県育成りんどう有望系統現地評価会	R3.7.26	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	いわてフラワーコンテスト2021審査会	R3.9.3	全農岩手県本部、農産園芸課	矢巾町 (全農岩手県本部)
	岩手県育成りんどう有望系統現地評価会	R3.10.15	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R3.11.4	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう・小ぎく 実績検討会	R3.12.22	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)
	調査研究実績検討会 (特許「リンドウの栽培方法」の紹介)	R4.3.4	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>南部園芸研究室</b>				
	住田町ストロベリープロジェクト研修会(第1～9回)	R3. 7.6 8.6 9.6 10.6 11.9 12.13 R4.1.19 2.8 3.9	住田町	陸前高田市 (南部園芸研究室)
	リアスターファーム勉強会(全3回)	R3.9.23 10.26 R4.1.25	(株)リアスターファーム	大船渡市
	令和3年度陸前高田市大規模園芸施設運営協議会 第1回ワーキンググループ会議	R4.11.8	陸前高田市	陸前高田市
	陸前高田市大規模施設園芸団地栽培打合せ(全12回)	R3.4.8 4.22 5.13 5.27 6.10 6.24 7.29 11.24 12.9 R4.1.13 2.10 3.10	陸前高田市	陸前高田市
<b>生産環境研究部</b>				
<b>土壌肥料研究室</b>				
	いわてアグリフロンティアスクール	R3.6.9	いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局(岩手大学農学部地域連携推進室)	盛岡市 (岩手大学)
<b>病理昆虫研究室</b>				
	いわてアグリフロンティアスクール	R3.6.16	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市
	令和3年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R3.6.14	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和3年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R3.7.12	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和3年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	R3.11.16	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
	令和3年度JA平泉なす全体研修会	R3.12.1	いわて平泉農業協同組合 JAいわて平泉なす生産部会	平泉町
	令和3年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R3.12.15	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和3年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R3.12.16	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和3年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R3.12.14	病害虫防除所 JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	県中地方園芸振興セミナー 「キュウリホモプシス根腐病の防除対策のポイント」	R3.12.17	福島県農中農林事務所	福島県玉川村
	令和3年度病害虫防除実績検討会(花き部会)	R3.12.22	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和3年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R3.12.22	盛岡地方農業農村振興協議会 盛岡農業改良普及センター	滝沢市 (リモート参加)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>病理昆虫研究室(続き)</b>				
	令和4年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R4.1.12	一関地方農林業振興協議会	一関市 (千厩分庁舎)
	令和3年度農薬管理使用アドバイザー養成研修	R4.1.18 R4.1.25	農業普及技術課	北上市 (農研センター) 盛岡市
<b>病害虫防除部</b>				
<b>病害虫防除課</b>				
	農業大学校新規就農者研修	R3.5.19	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	いわてワイン生産アカデミーフォローアップ講座	R3.7.8	農産園芸課	北上市 (農研センター)
	若手ほうれんそう生産者研修会	R3.10.12	久慈地方農業農村活性化推進協議会	久慈市
	農の雇用事業に係る研修会	R3.11.11	(一社)岩手県農業会議	盛岡市
	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R3.11.16	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
	農薬適正使用研修会	R3.11.29	一関地方農林業振興協議会	一関市
	花巻農協なす研修会	R3.11.30	花巻農協花巻地域野菜生産部会	花巻市
	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R3.10.7 ~12.9	農業普及技術課	二戸市・釜石市・ 盛岡市・北上市・ 奥州市
	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R4.1.18 R4.1.25	農業普及技術課	盛岡市・北上市
	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R3.12.20	盛岡地方農業農村振興協議会	オンライン
	一関地方りんご病害虫防除暦編成会議	R4.1.12	一関地方農林業振興協議会	一関市
<b>畜産研究所</b>				
<b>家畜育種研究室</b>				
	家畜人工授精講習会	R3.11.4	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R3.11.16	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R4.11.19	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R4.11.19	流通課	盛岡市
	花巻農協肥育部会枝肉勉強会	R3.12.10	花巻農協	花巻市
	岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会	R4.2.24	畜産課	紫波町

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>				
	家畜人工授精講習会	R3.11.2	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R3.11.18	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	事例研究等校外研修	R3.6.11 R3.10.9	農業大学校	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜商講習会	R3.11.18	流通課	盛岡市
	獣医畜産業績発表会(特別発表)	R4.1.28 中止	畜産課	盛岡市
<b>外山畜産研究室</b>				
	事例研究等校外研修	R3.10.5	農業大学校	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R3.11.1 R3.11.15	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
<b>種山畜産研究室</b>				
	農業大学校講義	R3.6.7	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	農業大学校講義	R3.11.12	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R3.11.5,8,11, 12,17	畜産課	住田町 (種山畜産研究室) 金ヶ崎町 (農業大学校)
	岩手ふるさと農協和牛改良組合二の台支部勉強会	R3.8.6	岩手ふるさと農協和牛改良組合	奥州市胆沢
	カシオペア和牛子牛飼養管理指導会	R3.11.2	二戸農業改良普及センター	軽米町
<b>県北農業研究所</b>				
<b>園芸研究室</b>				
	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会)	R3.6.15	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)、二戸市
	未来を育む県北農業ステップアップ事業「野菜新技術セミナー」	R3.9.29	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)
	北いわてスマート農業サロンシンポジウム(環境制御分科会)	R4.2.9～	農業普及技術課(農業革新支援担当)	Web(YouTube視聴)
<b>作物研究室</b>				
	薬用作物産地支援栽培技術研修会(東北・関東・北陸会場)	R3.11.19	薬用作物産地支援協議会	群馬県高崎市
	北いわてスマート農業サロンシンポジウム(自動操舵分科会)	R4.2.9～	農業普及技術課(農業革新支援担当)	Web(YouTube視聴)

### 3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,790 人	- 人	1,790 人	令和3年4月～令和4年3月
南部園芸研究室	68 人	- 人	68 人	
畜産研究所	401 人	- 人	401 人	
種山畜産研究室	81 人	- 人	81 人	
県北農業研究所	252 人	- 人	252 人	
計	2,592 人	0 人	2,592 人	

### 4 春季一般公開及び一般公開デー

名 称	開催期日	開催場 所	参 集 人 員
春季一般公開(ふれあい公園)	R3.4.13～18	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	85 名
一般公開デー(本部)	(新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言により中止)		
一般公開デー(畜産研究所)	(実施せず)		

### 5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R3.5.20	北上市(本部)	醸造用ぶどう栽培フォローアップ講座	11名	果樹
R3.6.17	北上市(本部)	醸造用ぶどう栽培フォローアップ講座	11名	果樹
R3.7.8	北上市(本部)	醸造用ぶどう栽培フォローアップ講座	11名	果樹
R3.8.5	北上市(本部)	醸造用ぶどう栽培フォローアップ講座	11名	果樹
R3.10.7	北上市(本部)	醸造用ぶどう栽培フォローアップ講座	11名	果樹
R3.5.18	一戸町(現地ほ場)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(自動操舵分科会)	41名	作物(県北)
R3.6.15	軽米町(県北農業研究所)、二戸市(現地試験ほ場)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会)	45名	園芸(県北)
R3.9.29	軽米町(県北農業研究所)	野菜新技術セミナー	28名	園芸(県北)

## 6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者

項目	主な内容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	2,510名	
		農業研究センター春季一般公開	R3.4.13～18 (85名)	
		農業研究センター一般公開デー	- -	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年3回展示紹介		-
		第85回「馬と農民」	R3.3.3～R3.6.30	
		第86回「塩の道を支えた南部牛」	R3.7.3～R3.12.19	
		第87回「みの(蓑)とけら(虻)」	R4.1.4～R4.6.30	
	イベント	「ドライリースを作ろう」	R3.8.1	12名(6組)
	その他	学校教育支援活動(社会科実習、校外学習等の受入)	-	542名(13校)
		高齢者、障害者支援活動(障害福祉施設等)	-	86名(6団体)
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	7,475名	
			(268件)	

## 7 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (3) 視察・体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
軽米町立軽米中学校2年	職場体験学習	2	県北農業研究所	R3.9.28～30
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(収穫)	12	県北農業研究所	R3.10.27

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
黒沢尻北高等学校	水稻の品種開発について	4	作物育種研究室	R3.7.27
岩手大学農学部 3年生	水稻の品種開発について	2	作物育種研究室 他	R3.9.27
農業大学校果樹専攻	果樹の栽培技術等に関する研究取組状況の視察	15	果樹研究室	R3.5.13
農業大学校新規就農者研修	りんごに関する研究取組状況の視察	20	果樹研究室 研究企画室	R3.6.25
黒沢尻工業高校電気科3年生	ICTを活用した農業技術開発・研究取組状況	1	生産システム研究室 野菜研究室 研究企画室	R3.8.5
農業大学校新規就農者研修	野菜に関する研究取組状況の視察	25	野菜研究室 研究企画室	R3.6.25
黒沢尻北高校1年生	野菜の施設栽培について	4	野菜研究室 研究企画室	R3.7.27
花巻農業高校生物科学科2年生	農業研究センターにおける試験研究内容及び成果について	32	野菜研究室	R3.10.13
農業大学校新規就農者研修	りんどうに関する研究取組状況の視察	20	花き研究室 研究企画室	R3.6.25
岩手大学農学部 3年生	りんどうに関する研究取組状況について	2	花き研究室 研究企画室	R3.9.28



所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手県立農業大学校 農産園芸研究科 野菜経営科 (1・2年、職員)	岩手県沿岸南部の試験研究機関における取組(いちご栽培試験)について	28	南部園芸研究室	R3.6.11
岩手大学農学部 3年生	インターンシップ実習 土壌調査実習、関連成果	2	土壌肥料研究室	R3.9.29
県立農業大学校畜産学科1年	畜産研究所の概要及び施設について	19	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.6.11
盛岡農業高等学校	リキッドフィーディングについて	6	家畜育種研究室	R3.8.10
県立農業大学校酪農経営科1年	牛群検定、BCS、TMRについて	6	家畜飼養・飼料研究室	R3.10.5
県立農業大学校肉畜経営科1年	日本短角種の飼養管理、放牧技術	9	外山畜産研究室	R3.10.5
花巻農業高校環境科学科1年	・乳、肉用牛の一般管理 ・肥育試験方法について ・肥育試験牛の調査と記録他	1	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.10.13～15
岩手大学動物科学科 1年	畜産研究所の概要及び施設について	34	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.10.13
花巻農業高等学校	黒毛和種種雄牛の飼養管理、凍結精液生産について	7	種山畜産研究室	R3.5.7
県立農業大学校畜産学科1年	本県における黒毛和種種雄牛造成の取組について	21	種山畜産研究室	R3.6.30
盛岡農業高等学校	黒毛和種県有種雄牛の造成と凍結精液の生産について	35	種山畜産研究室	R3.10.26
岩手大学農学部動物科学4年	種山畜産研究室の業務と施設の視察	3	種山畜産研究室	R3.11.17
岩手県立軽米高校 2年生	地域探求学習 ～スマート農業に関する研究内容について～	49	県北農業研究所	R3.9.29

ウ その他の視察・研修等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
南滝田農家組合	果樹の栽培技術等に関する研究取組状況の研修	20	果樹研究室	R3.12.20
(株)ジェイ・ツー・ビー	いちごの栽培技術視察	3	南部園芸研究室	R3.5.7
(福)自立更生会盛岡杉生園 いちご生産者(盛岡市) 東日本機電開発(株)	いちごの閉鎖型ベンチにおける生育状況視察	5	南部園芸研究室	R3.6.8
JAいわて花巻西和賀地域(職員、いちご生産者) 中部農業改良普及センター西和賀サブセンター	いちごの栽培技術視察	4	南部園芸研究室	R3.8.25
いちご生産者(釜石市)	いちごの品種について	1	南部園芸研究室	R3.9.7
(株)GFK(奥州市江刺)	いちごの栽培技術について	4	南部園芸研究室	R3.10.15
JAいわて平泉いちご生産部会	いちごの栽培技術視察	20	南部園芸研究室	R3.11.25

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
いちご生産者(盛岡市) 東日本機電開発株	いちごの閉鎖型ベンチにおける生育状況視察	3	南部園芸研究室	R4.1.18
宮古地域酪農サポートチーム関係者	地域経営推進費事業に係るバケットミルカー、バルククーラの洗浄状態の調査方法習得支援	8	家畜飼養・飼料研究室	R3.5.28
農林水産部新採用職員研修試験研究機関見学	畜産研究所の概要及び施設について	25	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.6.4
農林水産部新採用職員研修試験研究機関見学	畜産研究所の概要及び施設について	1	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R3.8.23
JAいわて花巻(肉牛繁殖生産部会石鳥谷支部)	岩手県有種雄牛の造成について	15	種山畜産研究室	R3.12.17
南建設株式会社	環境制御ハウスの施設概要について	3	県北農業研究所 園芸研究室	R3.5.20
岩手アグロフロンティアスクール受講生	環境制御技術の研究状況～ハウスの施設概要について	35	県北農業研究所 園芸研究室	R3.6.30
県北家畜保健衛生所	環境制御ハウスの施設概要について	11	県北農業研究所 園芸研究室	R3.7.13
東都興業(株)	環境制御ハウスの施設概要について	2	県北農業研究所 園芸研究室	R3.7.13
県立一戸高等学校	環境制御ハウスの施設概要について	5	県北農業研究所 園芸研究室	R3.10.29
軽米町議会産業建設委員会	スマート農業技術試験研究状況について	7	県北農業研究所 園芸研究室	R3.11.26
佐賀県東松浦農業改良普及センター、西松浦農業改良普及センター	雑穀の移植栽培技術について	2	県北農業研究所 作物研究室	R4.3.15

## 8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	政策地域部科学ILC推進室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産基盤研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 水田利用研究室長 生産システム研究室長 野菜研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農業管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 生産環境研究部長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	生産基盤研究部長	団体指導課
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	生産基盤研究部長	流通課
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 園芸技術研究部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長 (県北研)	農村計画課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	生産基盤研究部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員	主任技能員 (生産基盤研究部、園芸 技術研究部、生産環境 研究部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	生産基盤研究部長 水田利用研究室長	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員	水田利用研究室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長	農産園芸課
いわて型野菜トップモデル産地創造事業にかかる 部門検討会(野菜販売額1億円計画審査会)	構成員(審査員)	農業経営研究室長 野菜研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農産園芸課
岩手県野菜生産振興計画策定に関する策定チー ム	チーム員	農業経営研究室長 野菜研究室長	農産園芸課
岩手県花き振興計画策定に関する策定チーム	チーム員	農業経営研究室長 花き研究室長	農産園芸課
岩手県版GAP審査委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 (リーディング経営体育成型)経営発展計画審査 会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員 理事	所長 企画管理部長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	水田利用研究室長	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農業振興協議会 農産園芸部会	構成員	専門研究員 (南部園芸研究室)	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	住田町
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼園芸研究室長	久慈市

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
二戸地方農林水産振興協議会	幹事	作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	理事、評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
農業情報学会	評議員	農業経営研究室長	九州大学大学院農学研究院
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	秋田県立大学
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 生産基盤研究部長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長 (県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	園芸技術研究部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	技師 (病虫害防除所) 主査専門研究員 (生産システム研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主査 (病虫害防除所) 上席専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病虫害防除所) 主査専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病虫害防除所) 野菜研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田利用研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会
岩手県病虫害防除連絡協議会	役員 幹事	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合
胆江広域病虫害防除協議会	役員 幹事	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合胆江地域センター
岩手中部病虫害防除協議会	役員 幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所主査 (病虫害防除課主査)	岩手県農業共済組合中部地域センター
岩手北部病虫害防除協議会	役員 幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所技師 (病虫害防除課技師)	岩手県農業共済組合北部地域センター
遠野地方病虫害防除推進協議会	幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター
気仙地方水稲病虫害防除協議会	理事	病虫害防除所長 (病虫害防除部長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター (気仙支所)
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	水田利用研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
いわてコントラクター等利用推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	いわてコントラクター等利用推進協議会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
江刺和牛生産改良組合	理事	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長	江刺和牛生産改良組合
かるまいシリアルブランド化女性推進協議会	委員	作物研究室長(県北研)	かるまいシリアルブランド化女性推進協議会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所





## VI 職員研修



## VI 職員研修

### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 小舘 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	タンパク質含有率を制御した低アミロース米の加工特性及び物理化学特性に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	H30.10.1～
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼料用トウモロコシの不耕起栽培に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	R元.10.1～
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	除染草地におけるカリ施肥と牧草中の放射性セシウムに関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	R3.10.1～

### 2 海外派遣・研修

(該当なし)

### 3 国内研修への派遣

#### (1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 小向 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	AIを活用した農業経営体数予測手法の習得	農研機構本部 企画戦略本部 農業経営戦略部 営農支援ユニット	R3.9.27～ 12.24
専門研究員 佐藤 拓也	県北農業研究所 作物研究室	ドローン等を活用したリモートセンシングによる水稲生育診断技術の開発	農研機構農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 農業環境情報グループ	R3.10.1～ 10.29

#### (2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
生産基盤研究部長 漆原 昌二	生産基盤研究部	研究リーダーとして必要な知見の習得	Web会議	R3.7.13～14

#### (3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

(該当なし)

#### (4) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 小田島 裕	園芸技術研究部 野菜研究室	中堅研究者研修	Web会議	R4.1.18～19
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	スマート農業技術の経営評価手法に関する研究会	Web会議	R3.11.1～2
主任専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	家畜改良センター	R3.6.10～17 9.7～16 R4.1.11～14 1.24～28
主査専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(2))	中央畜産技術研修所	R3.10.11～15
主任専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会(畜産統計処理)	中央畜産技術研修所	R4.1.17～21
主査専門研究員 安田 潤平	畜産研究所 家畜育種研究室	畜肉成分分析技術講習	東北農業研究センター	R4.1.11～14 1.17～21
専門研究員 高橋 良乃	畜産研究所 家畜育種研究室	畜肉成分分析技術講習	中央畜産技術研修所	R4.1.11～14 1.17～21

## (5) その他

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
農業情報学会2021年度年次大会	オンライン開催	R3.5.22～23	企画管理部 農業経営研究室	1
令和3年度 日本農業経営学会研究大会	オンライン開催	R3.9.18～19	企画管理部 農業経営研究室	2
第57回東北農業経済学会岩手大会	岩手県立大学(オンライン開催)	R3.9.4～5	企画管理部 農業経営研究室	4
日本農業普及学会 令和3年度春季大会	東京都(オンライン開催)	R4.3.3～4	企画管理部 農業経営研究室	2
2021年度 食農資源経済学会 第15回大会	オンライン開催	R3.8.28	企画管理部 農業経営研究室	1
日本農業経済学会2022年度大会	オンライン開催	R4.3.26～27	企画管理部 農業経営研究室	2
農業農村工学会大会講演会	オンライン開催	R3.8.31～9.1	生産基盤研究部 水田利用研究室	1
園芸学会春季大会	オンライン開催	R4.3.20～21	園芸技術研究部 果樹研究室	1
第64回東北農業試験研究発表会	書面開催	R3.10.31	園芸技術研究部 果樹研究室	1
園芸学会秋季大会	オンライン開催	R3.9.11～12	園芸技術研究部 野菜研究室	5
園芸学会春季大会	オンライン開催	R4.3.20～21	園芸技術研究部 野菜研究室	5
第64回東北農業試験研究発表会	書面開催	R3.10.31	園芸技術研究部 野菜研究室	1
北日本病害虫研究発表会	オンライン開催	R3.2.17～18	園芸技術研究部 野菜研究室	3
プレゼンテーション講座(e-ラーニング)	オンライン開催	R3.12	園芸技術研究部 野菜研究室	1
問題発見・解決力向上講座(e-ラーニング)	オンライン開催	R3.12	園芸技術研究部 野菜研究室	2
園芸学会東北支部大会	オンライン開催	R3.8.27	園芸技術研究部 花き研究室	1
園芸学会春季大会	オンライン開催	R4.3.17～.3.23	園芸技術研究部 花き研究室	1
園芸学会東北支部令和3年度大会	オンライン開催	R3.8.26～27	園芸技術研究部 南部園芸研究室	3
園芸学会東北支部令和3年度大会北日本イチゴ研究会	オンライン開催	R3.8.27	園芸技術研究部 南部園芸研究室	3
なつあかり研究会「夏イチゴの品種に関する意見交換会」	オンライン開催	R3.11.10	園芸技術研究部 南部園芸研究室	3
第43回施設園芸総合セミナー・機器資材展	オンライン開催	R4.3.28	園芸技術研究部 南部園芸研究室	1
ムーンショット型農林水産研究開発事業「土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラントホーム構築」キックオフシンポジウム	オンライン開催	R3.5.22	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
ドローン安全研修会	本部大会議室 E地区水田	R3.6.8	生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室	3
農地管理実態調査講習会	オンライン開催	R3.11.26	生産環境研究部 土壌肥料研究室	4
日本土壌肥料学会東北支部大会	オンライン開催	R3.12.1	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
カーボンニュートラルセミナー	オンライン開催	R3.12.9	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
東北土壌肥料協議会「若手の会」勉強会	オンライン開催	R4.2.9	生産環境研究部 土壌肥料研究室	4
タマネギセミナー	オンライン開催	R4.2.18	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
新稲作研究会	オンライン開催	R4.3.3	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
第38回土・水研究会	オンライン開催	R4.3.17	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
危険物取扱者保安講習	盛岡市	R3.9.29	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
農作業安全に関する指導者向け研修	盛岡市	R4.1.18	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
農研機構オンラインシンポジウム「新規登録された天敵タバコカスミカメの上手な使い方と導入事例」	オンライン開催	R3.8.19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
EBC研究会ワークショップ2021	オンライン開催	R3.9.15	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
日植防シンポジウム「新しい時代に向けた病害虫の診断と発生予察を考える」	オンライン開催	R3.9.17	生産環境研究部 病理昆虫研究室	4
第1回農薬の新施用技術検討協議会	オンライン開催	R3.9.29	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
令和3年度日本植物病理学会東北部会	オンライン開催	R3.10.12～15	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
農研機構オンラインシンポジウム「AIを活用した植物病害虫診断技術の開発と展望」	オンライン開催	R3.8.19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
令和3年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R3.11.16	生産環境研究部 病理昆虫研究室	6
第30回天敵利用研究会沖縄大会	オンライン開催	R3.12.16	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第1回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム	オンライン開催	R3.12.17	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
第75回北日本病害虫研究発表会山形大会	オンライン開催	R4.2.17～18	生産環境研究部 病理昆虫研究室	7
第2回農薬の新施用技術検討協議会	オンライン開催	R4.3.14	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第69回日本生態学会大会	オンライン開催	R4.3.14～19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第66回日本応用動物昆虫学会大会	オンライン開催	R4.3.20～22	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
令和4年度日本植物病理学会札幌大会	オンライン開催	R4.3.27～29	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第31回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	オンライン開催	R4.3.30	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
刈払機械取扱作業安全衛生教育	紫波町	R3.6.4	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	紫波町	R3.6.24	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
伐木等業務従事者特別教育	矢巾町	R3.7.12～14	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
高所作業車運転技能講習	北上市	R3.10.29～30	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
農薬適正使用研修会(病害虫防除所、岩手県植物防疫協会)	盛岡市キャラホール	R3.6.30	病害虫防除所 (病害虫防除部)	7

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
病虫害診断・発生予察シンポジウム(日本植物防疫協会)	オンライン開催	R3.9.17	病虫害防除所 (病虫害防除部)	6
岩手県植物防疫関係者技術研修会(岩手県植物防疫協会)	花巻市志戸平温泉	R3.11.16	病虫害防除所 (病虫害防除部)	9
天敵製剤オンライン研修(タキイ種苗 他)	オンライン開催	R3.10.5	病虫害防除所 (病虫害防除部)	2
シンポジウム「新しい時代に向けた農薬の施用法の現状と将来を考える」(日本植物防疫協会)	オンライン開催	R4.1.18	病虫害防除所 (病虫害防除部)	5
東北農業試験研究推進会議・病虫害研究会、農業気象研究会(農研機構)	オンライン開催	R4.1.20～21	病虫害防除所 (病虫害防除部)	5
東北地区病虫害防除所職員技術研修会(東北農政局)	オンライン開催	R4.1.26	病虫害防除所 (病虫害防除部)	1
寒冷地果樹研究会(農研機構)	オンライン開催	R4.2.1	病虫害防除所 (病虫害防除部)	2
落葉果樹研究会(農研機構)	オンライン開催	R4.2.2	病虫害防除所 (病虫害防除部)	1
果樹病害・虫害研究会(農研機構)	オンライン開催	R4.2.3～4	病虫害防除所 (病虫害防除部)	2
第75回北日本病虫害研究発表会	オンライン開催	R4.2.17-18	病虫害防除所 (病虫害防除部)	9
病虫害防除所職員等中央研修(横浜植物防疫所)	オンライン開催	R4.2.25	病虫害防除所 (病虫害防除部)	2
農作業安全に関する指導者向け研修	オンライン開催	R4.2.28	病虫害防除所 (病虫害防除部)	1
カメムシ等検討会(農研機構)	オンライン開催	R4.3.17	病虫害防除所 (病虫害防除部)	3
東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会夏期研究会	オンライン開催	R3.8.31	畜産研究所	11
ホルスタイン登録委員研修	オンライン開催	R3.8.31	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
和牛におけるTMR利用に係る勉強会	オンライン開催	R3.9.2	畜産研究所 家畜育種研究室 外山畜産研究室	2
第62回全国家畜保健衛生業績発表会	オンライン開催	R3.9.16	畜産研究所 種山畜産研究室	1
超音波画像診断研修会	オンライン開催	R3.9.3	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和3年度畜産環境シンポジウム	オンライン開催	R3.9.8	畜産研究所	4
黒毛和牛の魅力創出技術セミナー	オンライン開催	R3.9.29	畜産研究所	3
官能評価ワークショップ	オンライン開催	R3.10.7～8	畜産研究所 家畜育種研究室	2
日本全薬酪農セミナー	オンライン開催	R3.10.22	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
スマート農業推進フォーラム2021 in 東北	オンライン開催	R3.10.28	畜産研究所	5
OPU-IVP技術研修会	岩手大学附属御 明神牧場	R3.11.18～19	畜産研究所 種山畜産研究室	1
牛舎設計支援者育成研修会	八幡平普及セン ター岩手町駐在	R3.12.7	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
農作業安全指導者向け研修	盛岡市	R4.1.17	畜産研究所 外山畜産研究室	1
東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会分科会	オンライン開催	R4.1.25～26	畜産研究所	15
日本短角種の高品質赤肉生産開発事業オンラインシンポジウム	オンライン開催	R4.2.22	畜産研究所 家畜育種研究室	3
日本草地学会岩手大会	オンライン開催	R4.3.25～27	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	4

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
受精卵移植関連技術全国会議	オンライン開催	R4.3.11	畜産研究所 外山畜産研究室	4
ゲノム定着化オンラインセミナー	オンライン開催	R4.3.29	畜産研究所 家畜育種研究室 種山畜産研究室	3
刈払機取扱作業安全教育	岩手県林業技術 センター	R3.8.2	畜産研究所 総務課	1
玉掛け技能講習	岩手労働基準協 会	R3.9.6～7,9	畜産研究所 総務課	1
車両系建設機械運転技能講習	岩手労働基準協 会	R3.10.13,15	畜産研究所 総務課	1
危険物取扱者保安講習	岩手県危険物安 全協会連合会	R3.10.22	畜産研究所 総務課	1
家畜人工授精師講習会	岩手県立農業大 学校	R3.11.1～28	畜産研究所 総務課	1
特定化学物質等作業主任者技術講習	岩手労働基準協 会	R3.12.21～22 R4.2.8～9	畜産研究所 総務課 種山畜産研究室	3
技能講習「玉掛け技能」	八戸市	R4.3.8～10	県北農業研究所 総務課	1
施設園芸セミナー	オンライン開催	R3.6.23	県北農業研究所 園芸研究室	1
日本作物学会 東北支部会	盛岡市	R3.7.3	県北農業研究所 作物研究室	2
令和3年度いわてスマート農業推進シンポジウム	オンライン開催	R3.8.27	県北農業研究所	5
オンラインシンポジウム「新規登録された天敵タバコカミメの 上手な使い方と導入事例」	オンライン開催	R3.8.19	県北農業研究所 園芸研究室	2
園芸学会秋季大会	オンライン開催	R3.9.8～14	県北農業研究所 園芸研究室	2
令和3年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R3.11.16	県北農業研究所 園芸研究室	1
雑穀協会セミナー	オンライン	R3.12.17	県北農業研究所 作物研究室	1
シンポジウム「新しい時代に向けた農薬の施用法の現状と将来を 考える」	オンライン開催	R4.1.18	県北農業研究所	3
農林水産イノベーションシンポジウム	オンライン開催	R4.1.27	県北農業研究所 作物研究室	1
水稲乾田直播子実トウモロコシフォーラム2022	オンライン開催	R4.3.2	県北農業研究所 作物研究室	4
日本育種学会 春季大会	オンライン開催	R4.3.20～21	県北農業研究所 作物研究室	1
施設園芸セミナー	オンライン開催	R4.3.28	県北農業研究所 園芸研究室	1
技能講習「小型移動式クレーン運転技能」	八戸市	R4.2.8～10	県北農業研究所 総務課	1

#### 4 所内研修等

研修名	開催場所	開催期間	所属部署・研究室	参加人数
農研本部新任者に対するオリエンテーション	本部特別会議室 他	R3.4.14	企画管理部 研究企画室	11
予備調査予算10万円獲得！農業研究センター所内コンペ	本部特別会議室	R3.4.27	企画管理部 研究企画室	25
試験研究成果書作成研修	本部2F中会議室 及びWEB	R3.6.10	企画管理部 研究企画室	28
統計処理研修	本部2F中会議室 及びWEB	R3.7.7 R3.7.14	企画管理部 研究企画室	24
依頼研究員及び予備調査獲得予算10万円獲得課題報告会	本部2F中会議 室、畜産研究所 会議室及びWEB	R4.1.11 R4.1.12 R4.1.13	企画管理部 研究企画室	延べ約100名
農業研究センター全体研修会	本部大会議室	R4.3.7	企画管理部 研究企画室	約80
普及指導員研修「専門技術基本研修(作物、果樹)」	本部2F小会議 室、圃場 他	R3.5～12	園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	3
農作業安全指導研修会	畜産研究所 大会議室	R4.3.18	畜産研究所 総務課	30
北いわてサロン自動操舵分科会現地研修会	一戸町現地ほ場	R3.5.18	県北農業研究所	2
北いわてサロン環境制御分科会現地研修会	県北研究所環境 制御ハウス及び二 戸市現地試験ほ	R3.6.15	県北農業研究所	5
環境制御技術セミナー	本部大会議室	R3.11.9	県北農業研究所 園芸研究室	3
野菜新技術セミナー	県北研・大会議室	R3.9.29	県北農業研究所 園芸研究室	4
北いわてスマート農業サロンシンポジウム	オンライン	R4.1.21	県北農業研究所	5
久慈地方「ほうれんそうセミナー」	久慈市	R3.12.17	県北農業研究所 園芸研究室	1



## 5 所内セミナー等

研修名	開催場所	開催期間	参加人数
生産基盤研究部 所内ゼミ「1時間でわかった気になれるGAPとHACCPについて」	本部大会議室	R3.7.2	20
生産基盤研究部 所内ゼミ「WildCup 事前発表:岩手型中山間地農業の実現へ「いわて農業ロボティクス・クラスター」」	本部大会議室	R3.8.4	20
園芸技術研究部 部内ゼミ「圃場巡回1」	本部圃場	R3.7.19	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「圃場巡回2」	本部圃場	R3.9.27	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「予備調査獲得予算10万円獲得課題報告会」	本部2F中会議室	R4.1.12	15
病虫害防除部 部内ゼミ ネギコガ第一世代の羽化予測の手法	本部2F小会議室	R3.5.18	9
病虫害防除部 部内ゼミ 地域の斑点米カメムシすくい取り調査の結果を地域の発生予測等に活用できないか?	本部2F小会議室	R3.6.16	9
病虫害防除部 部内ゼミ りんごの作付面積と調査地点数、防除所職員数の年次別推移	本部2F小会議室	R3.9.14	9
病虫害防除部 部内ゼミ 農薬の使用指導における留意事項	本部2F小会議室	R3.10.19	9
病虫害防除部 部内ゼミ 農薬販売届受理書作成時の住所表記について	本部2F小会議室	R3.11.4	9
病虫害防除部 部内ゼミ ①参観デーの過去の展示説明内容 ②トンボの生活史と水田とのかかわり	本部2F小会議室	R3.12.13	9
病虫害防除部 部内ゼミ 記事紹介:「技術と普及」1994年12月号より 図書紹介:「医者 井戸を掘る」(中村哲・石風社)	本部2F小会議室	R4.1.17	9
病虫害防除部 部内ゼミ 家畜伝染病予防法と鳥インフルエンザ対策について	本部1F中会議室	R4.2.16	9
病虫害防除部 部内ゼミ 職場でのコミュニケーションについて	本部2F小会議室	R4.3.15	9
第1回 県北農業研究所内ゼミナール「試験圃場巡回説明会」	県北場内ほ場	R3.7.27	12
第2回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R3.8.25	8
第3回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R3.9.28	8
第4回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R3.10.27	8
第5回 県北農業研究所内ゼミナール「みどりの食料システム戦略について」	県北3F中会議室	R4.1.14	8
第6回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R4.2.22	8
第7回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R4.3.23	9
畜産研究所 所内ゼミ「Wild Cup 2021 予演会」	畜産研究所 小会議室	R3.7.26	13
畜産研究所 所内ゼミ「Excelマクロ入門VBA」	畜産研究所 セミナー室	R4.1.17	8
畜産研究所 所内ゼミ「草地学会 予演会」	畜産研究所 セミナー室	R4.2.3	9
畜産研究所 所内ゼミ「所長、次長講話」	畜産研究所 大会議室	R4.3.15	45



## **VII 試験研究以外の業務概要**



## Ⅶ 試験研究以外の業務概要

### 1 作物の原々種の採種

#### (1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	銀河のしずく	5	108	農業研究センター
	ひとめぼれ	10	288	〃
	金色の風	3	40	〃
水稻(酒米)	吟ぎんが	1	50	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	3	72	〃
水稻(飼料用米)	つぶゆたか	2	57	〃
小麦	ナンブコムギ	10	360	〃
大豆	リュウホウ	10	101	〃
	シュウリュウ	4	66	〃
	ナンブシロメ	3	33	〃
	ユキホマレ	1	6	〃

### 2 作物の原種の採種

#### (1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	いわてっこ	100	2,200	農業研究センター
	あきたこまち	85	2,600	〃
	銀河のしずく	100	3,900	〃
	ひとめぼれ	350	11,000	〃
	ササニシキ	17	600	〃
水稻(飼料用米)	たわわっこ	32	1,000	〃
	つぶゆたか	25	900	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
小麦	ナンブコムギ	255	4,350	農業研究センター
	ゆさちから	187	3,900	〃
	銀河のちから	100	2,370	〃
大豆	リュウホウ	140	1,702	農業研究センター
	シュウリュウ	50	876	〃
	ナンブシロメ	30	557	〃

#### (2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
あわ	ゆいこがね	0.1	1.0	県北農業研究所
ひえ	達磨	0.1	1.0	県北農業研究所

### 3 種苗等の配布

#### (1) 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和4年採種圃播種用)	かけはし	60	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	いわてっこ	920	〃
	あきたこまち	2,000	〃
	どんびしゃり	180	〃
	銀河のしずく	1,300	〃
	ひとめぼれ	9,540	〃
	金色の風	140	〃
	ササニシキ	160	〃
酒造好適米原種 (令和4年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	60	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和4年採種圃播種用)	たわわっこ	580	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶゆたか	500	〃
水稻もち原種 (令和4年採種圃播種用)	めんこもち	0	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ヒメノモチ	1,120	〃
	もち美人	30	〃
小麦原種 (令和3年採種圃播種用)	ナンブコムギ	4,185	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	4,075	〃
	銀河のちから	560	〃
大豆原種 (令和4年採種圃播種用)	リュウホウ	2,105	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	シュウリュウ	180	〃
	ナンブシロメ	140	〃
	ユキホマレ	32	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

#### (2) その他種苗の配布

種 類	品種・系統	数量(単位)	配 布 先
あわ原種	大槌10	0.13(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.20(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
きび原種	ひめこがね	1.11(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	(なし)	-	-

#### 4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:令和4年3月31日現在)

##### (1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
花金幸	155	161	103	95	96	120	75	93	123	98	83	100	1,302
百合雲	88	146	95	83	61	98	138	90	135	18	125	80	1,157
安久勝晃	120	143	77	35	33	70	35	45	10	33	20	20	641
結乃宝	52	70	55	83	0	40	55	100	50	5	41	27	578
菊勝久	13	5	31	24	55	18	18	53	18	71	33	97	436
飛良智	40	35	10	5	10	10	8	30	0	0	5	30	183
山根雲	2	20	0	0	30	5	0	0	15	35	0	30	137
星乃栄	0	0	0	0	0	0	0	5	16	0	60	40	121
菊福秀	8	0	0	17	10	10	0	10	0	15	10	5	85
晴奈	0	20	10	10	5	0	10	0	0	0	10	0	65
暁雲	6	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	76
菊安舞鶴	0	0	0	0	0	0	10	0	5	0	30	0	45
月山桜	30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	37
百合花智	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	92	125
八重金幸	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	30
菊百合福	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20
その他	5	5	10	0	10	5	0	3	0	3	0	15	56
計	519	665	391	352	310	376	349	479	372	278	452	551	5,094

##### (2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松福	34	3	30	0	0	0	20	5	0	11	0	0	103
兼代29	0	0	0	3	0	0	3	0	5	0	20	5	36
若鯨	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
松隆	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
慶一	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
良広	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
その他	5	0	0	11	15	0	0	13	5	6	5	25	85
計	63	3	30	86	15	0	23	18	10	17	25	30	320

## 5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和4年3月31日現在)

### (1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	-	-	-	県内養豚農場
B	-	-	42	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	9	県内養豚農場
計	0	0	51	

### (2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	914	335	1,249	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

## 6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和3年5～10月)

### (1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	52	1	34	87

### (2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	4	1	1	6



## VIII 予算及び財産



## Ⅷ 予算及び財産

### 1 岩手県農業研究センター予算(令和3年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費(本部)		655,571
人件費(県北)		107,918
庁舎管理費(本部)		107,365
庁舎管理費(県北)		21,913
ほ場管理費(本部)		47,908
ほ場管理費(県北)		1,734
ふれあい公園管理運営費		8,979
試験研究費(国庫、委託試験等)		99,432
(1)植物防疫研究費	1,944	
(2)土壌対策研究費	144	
(3)外部資金等農業試験研究費	97,344	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		11,489
主要農作物採種管理費		8,799
令達事業(本部)		39,121
令達事業(県北)		952
共同研究機関配分研究費		39,600
合 計		1,150,781
<b>【畜産業費】</b>		
人件費(畜産)		419,944
庁舎管理費		81,532
飼育管理費		130,756
管理運営費(種山畜産研究室分)		103,732
試験研究費(国庫、委託試験等)		22,566
農業関係試験研究委託事業	4,895	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		11,363
令達事業		45,344
合 計		815,237
全 体 計		1,966,018

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (R4.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m <sup>2</sup> )		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
<b>【主な施設面積(内数)】</b>										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整										860
調査棟										716
園芸作物調査棟										608
生産環境調査棟										716
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

(2) 飼養家畜頭数 (R4.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		42	42	ホルスタイン種 61
	育成牛(子牛含む)		19	19	
肉用牛	(滝沢)	89 (雄27, 去勢62)	41	130	黒毛和種 55、日本短角種 75 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 64、日本短角種 51 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 106 (育成牛を含む)
	(外山)	14 (子牛14)	101 (子牛17)	115	
	(種山)	74 (雄44, 去勢30)	32	106	
	牛 計	177	235	412	
豚	種豚	16	29	45	【種豚の内訳】 パークシャー種 146、デュロック種 1、雑種 36
	その他	-	-	188	
	計	16	29	233	
鶏	種鶏	-	-	1,665	岩手地鶏 279、岩手大型ロード 512、基礎鶏 337、ホワイトロックロード 585、ホワイトロック 33、新ロード 525

## IX 沿革



## 区 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。  
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢)に設置。
- 大正8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。  
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。  
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。  
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。  
農業試験場畜産部を種畜場と併設。  
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。  
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。  
農業試験場に遠野試験地が国から移管。  
農業試験場に農業経営研究部門設置。  
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。  
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。  
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。  
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。  
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。  
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。  
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。  
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。  
園芸試験場に環境部を設置。  
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。  
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。  
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。

昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災津波で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編、5部体制に整備 環境部を生産環境研究部と改称

<所在>

<b>岩手県農業研究センター</b>		
本部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken">https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken</a> E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp



**令和 3 年度 岩手県農業研究センター年報**

令和 4 年 10 月発行

**岩手県農業研究センター**

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

